

山手の家



社団法人 静岡県設備設計協会



会 員 憲 章

社団法人 静岡県設備設計協会

1. 会員は委託者の信頼に応え、設備設計事務所の構成員として資質才能を充分に生かし責務を果たさなければならない。
2. 会員は委託者から適正な報酬を受け、委託者以外のものからいかなる利益供与も受けてはならない。
3. 会員は常に知識と経験を傾注し、先進的な技術をもって社会に貢献するよう努めなければならない。
4. 会員は常に人格の向上、研學に努め会員相互は友愛をもつて過し他の設計者の名声を傷つけてはならない。
5. 会員は施工者に対し公正な態度でのぞみ、行き届いた工事監理をしなければならない。



40周年にあたって

社団法人静岡県設備設計協会

会長 手塚 正 一

40年前を思いおこせば、東京オリンピックが終わり、新幹線も開通し、東名高速道路も着手した高度成長期の真っ盛りでした。学校も木造から鉄筋コンクリート造りになり、世はまさに建築ブームで、国中景気が良くてにぎわっていました。私もちょうどその頃、業界の一員になりました。まだ現場では図面が青写真でした。毎日毎日忙しくて、夜遅くまで働いていたことを覚えています。

このような時代に先輩達が、協会を設立してくれました。全国でも一番早いぐらいの組織づくりと聞いております。当時は、建築設備士のような国家試験はなくて、ほとんどの先輩たちは工事店で修行し独学の努力で設計を覚えて、今日の基礎を築きあげてくれたのだと思っております。まだ当時は設備のことを附帯工事と言っており、分離発注などほど遠い存在でした。今までは建築工事の30%を占めて各諸官庁でも設備担当部署がおかれるようになりました。

40年間、業界及び協会をささえてくれました諸先輩方々に深く深く感謝いたします。皆様方のおかげです。これからももっともっと精進努力勉強して、必ずやこのバトンを後継者にしっかりと渡すことができるよう協会員を代表いたしまして仕事にはげむこととお約束してごあいさついたします。

40年のあゆみ

目 次

● 全員憲章		2
● 40周年にあたって	社団法人静岡県設備設計協会 会長 手塚正一	3
● 目次		5
● 祝辞	静岡県知事 石川嘉延	6
● ごあいさつ	参議院議員 竹山 裕	7
● 祝辞	静岡県議会議長 大橋正己	8
● 街づくり	静岡県議会議員 堀江龍一	9
● 祝辞	静岡県議会議員 天野 一	10
● 祝辞	社団法人静岡県建築士事務所協会 会長 山崎善利	11
● 創立40周年を祝して	社団法人日本設備設計事務所協会 会長 福西輝男	12
● 祝創立40周年		14
● 創立40周年記念式典式次第		19
● 創立40周年記念式典来賓名簿		20
● 記念式典写真		21
● アートギャラリー	司馬温公の甕割り 久能山東照宮	26
● 環境の世紀 持続可能な社会をめざして		
	静岡県都市住宅部 設備室長 鈴木一敏	29
● 社団法人静岡県設備設計協会40年のあゆみ		30
● 広報誌「風とあかり」のあゆみ		62
● 歴代役員		64
● 設備のあゆみ		68
● 定款		76
● 平成17年度役員委員会構成		80
● 正会員名簿		81
● 賛助会員名簿		85
● 協賛各社御紹介		99
● 書籍紹介		114
● 編集後記		115



祝 辞

静岡県知事

石 川 嘉 延

社団法人静岡県設備設計協会が、その前身である静岡県設備設計事務所協会として昭和40年4月に発足して以来、本年、創立40周年という節目の年を迎えられ記念誌を発行されるのに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

静岡県設備設計事務所協会が創立されました昭和40年代は、我が国の経済や技術が急速に発展を遂げましたが、現在は、地球的規模で大競争・大交流時代が進み、IT化に代表されるように、人々の生活をより豊かに、より便利にするために様々な分野で高い技術が求められるようになってきております。

こうした時代の中、貴協会の会員の皆様が、県民の安全・快適で豊かな生活の向上に寄与するために、長年にわたり新しい時代に適応した設備技術の研究、普及などの事業活動に一致団結して取り組まれてきたことは、行政をはじめ多くの方から高く評価されているところであり、ここに改めて敬意を表するところであります。

現在、静岡県では「富国有徳 創知協働」を県政の基本理念に掲げ、県民くらし満足度日本一を目指し、県民、企業、団体の皆様と力を合わせて「安心・安全日本一」や「自然環境日本一」など10の分野の施策に取り組んでいるところです。

貴協会におかれましては、災害に強い、安全で快適な住環境をはじめとする都市環境の整備や、太陽光、風力、バイオマス、燃料電池などの新エネルギーの導入など、今、正に社会が必要としている施策の促進に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人静岡県設備設計協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして私のお祝いの言葉といたします。



ごあいさつ

参議院議員

竹 山 裕

静岡県設備設計協会創立40周年おめでとうございます。

静岡県設備設計協会は、建築設備設計及び工事監理業務を職能とする技術者の静岡県組織として闊達自在に活動されてこられました。

平成13年には公益法人として社団法人静岡県設備設計協会が誕生し、今年は創立40年という節目の年を迎え、誠に慶賀の至りであります。これまでの永きにわたる関係各位のご労苦やご精励に対し深く敬意を表する次第であります。

さて、建築設備をめぐっては、時代とともに変遷する社会のさまざまな要請に対応した取組みが求められております。①業務の効率化、情報コミュニティの形成に欠かせない情報通信技術への対応、②CO₂排出量の削減等総合的な環境保全と環境負荷低減への即応、③利用者の利便性・快適性の向上を目指し、だれでも利用が容易な施設整備の推進のためのユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進、④安全で安心できる社会の形成に向け、地震等の災害や防災に対応した設備のセキュリティ強化、⑤技術革新による豊かな社会の形成を目指す新技術の普及促進のための対応など枚挙にいとまがありません。

こうした設備設計に関するさまざまな取組みを的確かつ円滑に実施していくためには、先進的な技術を習得するなど常に自己研鑽に努め、培われた知識と豊富な経験を傾注していくことが求められているのであります。さらに、施工者に対し公正な姿勢でのぞみ、行き届いた工事監理をすることも責務と言えるものであります。

このような中で、貴協会の役割はますます重要性を増しております。時代への適切な対応と技術能力の向上により、同業務の改善と本業界の社会的地位の向上が図られ、今後とも地域の建築文化の隆盛に一段と貢献されることを切望するものであります。



祝 辞

静岡県議会議長

大 橋 正 己

社団法人静岡県設備設計協会が創立40周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

昭和40年、前進であります静岡県設備設計事務所協会が発足して以来、今日まで、貴協会の皆様が、建築設備等の知識の普及啓発、技術研究、あるいは人材育成などの活動を通じて県民生活の向上と本県の発展のため御尽力されてまいりましたことに対し、深く経緯と感謝の意を表する次第であります。

近年、我が国では、環境問題、少子・高齢化の振興、IT化など、これまで我が国の発展を支えてきた社会経済の仕組そのものが大きく変化しております。

皆様の建築設備業界におきましても、ユニバーサルデザインや省エネルギーの促進、あるいは大規模地震等への対応など、新たな課題やニーズが生まれてきており、設備設計に携わる皆様に寄せられる県民の期待には、誠に大きなものがあります。

県議会におきましては、住環境と都市環境の整備が県政にとって大変重要な課題であるとの認識の下、今後ともその推進に対してできる限りの支援をしてまいる所存でありますので、皆様におかれましても、県民の安全で快適な生活のため、その専門性を生かして一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに当たり、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍をお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



街 づ く り

静岡県議会議員

堀 江 龍 一

社団法人静岡県設備設計協会が創立40周年を迎えられ記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

貴協会の皆様が昭和40年の創立以来建築設備設計及び工事監理業務の向上のため、たゆみない努力と熱心な活動を続けられましたことに対し深く敬意を表します。

さて、県都静岡市も全国14番目の政令指定都市として第一歩を踏み出しました。しかし人口71万は最も小規模な政令指定都市ですが、他の都市にはない「静岡型政令市」を作り上げる努力が必要と考えます。静岡市は県の中央に位置し温暖な恵まれた気候と北は南アルプス、南は駿河湾に面しており、豊かな自然環境を身近で楽しむことができ、産・学・住・遊の都市としては全国一です。更に高齢者が安心して暮らせる便利で楽しい全国一の都市を目指していくべきだと考えます。それには、都市としての経済力や都市の格を上げるための施策が必要です。まず人が集まる街づくりとして、静岡草薙球場を多目的に使用できる屋根つきのアリーナに建設し直して、プロ野球を誘致したり、サッカー場やコンサートホールなどに活用してはどうかと思います。もう一つは全国にないような新交通システムの構築です。例えばオーストラリア・シドニーの環状モノレールを参考に、小規模で建設コストはもちろんランニングコストも安く上がるような中都市型のモノレールを、歩道を利用して市内をぐりと廻る環状線にします。駅はデパートや商業ビル等、民間のビルの1階や2階を提供してもらい、そこに造ります。駅ができたビルの価値は大いに上昇するのではないのでしょうか。

今、世の中は何か沈滞ムードの中で、静岡空港や第2東名は要らないとか、公共事業はすべて無駄だとか、後向きな議論になってしまいがちですが、私達にとって豊かで楽しい人生を送るには前向きに未来を考えて、今、実行することが大切だと思います。皆様の英知で良いものをたくさん生み出していく努力が必要ではないのでしょうか。皆様と手をたずさえて共に頑張っていきたいと思います。

結びに（社）静岡県設備設計協会と会員皆様の益々の発展とご繁栄を祈念申し上げます。



祝 辞

静岡県議会議員

天 野

—

2007年を一つの区切りに、特に人口減をきっかけに、これから数年間は大きく変化する、変化せざるをえない日本になります。社会のシステム、社会のありようが今までの価値とは違う時代が変わる時、私は、「仕事の前にまず人間ありき」仕事ができるできないの前に義理人情に欠けるような人。人の温もりが分からない人と仕事をしたって人を喜ばすモノができないと考えます。これからは、デジタルだ。やれインターネットだと騒いでいるけれど、デジタルだけで車もテレビも動きはしない。デジタル化が進めば進むほど「雑貨」の希少価値が上がる。又、俺が俺がという人に仕事はできないと思います。人より一歩進んだ仕事をするには、情報を持つことが欠かせない。情報も人から直接聞くものが本物の価値があると考えます。インターネット・テレビ・本に出ている情報は、すでに使い古された情報だと考えます。だから、私は設備設計の皆様、一人一人個性人間性の素晴らしい人達に出会い語り合える集団こそ大事だと考えます。これから、設備設計協会が人間味があり、ある時は強い人達の集団とし、群れることこそ価値があると考えます。大きな変化をする時代に突入しますが、前に述べたように、人間として基本的な生き方や物の道理を理解すれば変化にまどわされず道が見えてくるはずです。最後に、設備設計協会の公的奉仕活動の価値がこれから更に輝きを増してくることを期待します。



祝 辞

社団法人静岡県建築士事務所協会
会 長 山 崎 善 利

創立40周年おめでとうございます。昭和40年4月に発足したと聞いていますが、私の記憶では当時、静岡市では防火帯建築が毎年設計され、建設されていました。私、針谷建築事務所に入って7年目で建築構造設計を専門とし、今でも覚えています。毎年年末は12月30日まで残業残業の連日でした。設備設計は私の知る限り静岡ではMA S 設備設計事務所と森坂設備設計事務所が設備設計事務所ではほとんどの設計をお願いしていた事を思い出します。

青木さん、塩沢さん、白鳥さん、後に花村さん（MA S 事務所）

森坂さん、荒巻さん、後に松岡さん（森坂事務所）

この事務所は、私共の事務所以外の仕事も受け大変忙しく、私も若く、連日の残業でしたが彼らも私以上に朝までの残業が当たり前で、建築設計事務所の工期に遅れないようがんばっていました。このような努力が今日の社団法人静岡県設備設計協会に繋がっていたのではと思う。

私は、常日頃設備設計については建築構造設計と同様、建築設計にはなくてはならない部門と考えています。建築士と同じく、設備士はもっと高い位置にすべきで、設備設計事務所の発展には微力ではありますが支えにしていきます。

私も日本建築士事務所協会連合会の会長会議、理事会に出席していますが、中央でも全国でもまだまだ設備設計は下請けとの認識が強く、法制化にはどちらかというと反対がほとんどです。構造事務所も設備事務所も建築設計ではなくてはならない三位一体です。設計から監理業務を通し、三者が強調し協力し安全・安心・環境に強く訴える建築創造にスクラムを組んで建築設計をしようではありませんか。協会等団体の長はとにかく一生懸命会務に励み、弱気を見せず常に前に前に進み、一步一步築く気概が必要です。貴協会会長手塚氏はこれにふさわしいファイトと行動力が強く感じられます。50周年に向け今以上の元気を持って協会の更なる発展と会員の結束をお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立40周年を祝して

社団法人日本設備設計事務所協会
会長 福西輝男

社団法人静岡県設備設計協会創立40周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。会員の皆様はじめ役員各位の団結と関係各位のご理解とご支援があったからだと思います。心から敬意を表しお祝いを申し上げます。この節目を期に更に団結をされ設備設計専門団体として地域に密着した活動をされ発展されることをお祈り申し上げます。

さて、本誌の貴重な誌面を拝借致しまして会員及び関係各位へ当協会の活動状況、特に建築設備士に係わる現状についてご報告を申し上げます。既に御案内致しております様に、5年毎の更新講習の廃止、建築設備士が民間資格にならず国家資格として残った事、試験の受験資格の緩和（大卒で8年から2年に、各種学校卒が各々6年短縮）等が既に実施されております。（以上の結果について、社団法人建築設備技術者協会が取組んだと言われている面があるようですが、同協会には何の協力も願っておりません。むしろ設備設計議員連盟のフォローを戴いたからだと思っております。ご参考に申し添えておきます）。その結果として二十歳代前半の受験者の合格を得られ、総数では40%程度受験者が増加しており、これらは資格への挑戦意欲の表われであると思います。

又、建築側、設備側の立場を明確化するため、明海大学の松本光平先生に委員長をお願いし、国土交通省住宅局建築指導課、官庁営繕部設備課の参画を得て弁護士立会いのもと、平成15年に社団法人日本建築士事務所協会連合会と当協会により、「建築設備契約約款検討会」を設置し、建築事務所と業務を行なう際においてきちんと契約を行なうことでそれぞれの立場を明確にするために「建築設備設計関連業務委託契約書」「建築設備設計関連業務委託契約約款」が作成され、平成16年6月24日に両団体共同で記者発表をし、実施されているところであります。

これらも設備設計議員連盟の総会において住宅局長が実態を調査した上で検討したいとの発言により平成13年に国土交通省住宅局の要請により実施した実態調査における建築側との多くの問題点提起を踏まえ検討を重ね出来上がったものです。（この件についても設備設計議員連盟のおかげで実現することになりました）

今後はこの約款が大いに活用できるように国土交通省住宅局に各自治体等にも活用推進に努めて戴く為の要請をしているところであります。各協会会員各位におかれましてもPRをし、効果が出る様に大いに活用して戴きたいと思っております。

当協会では、建築設備士の位置付けについて歴代の会長、役員各位が取り組んでこられ、又、私が会長になって8年余努力してまいりましたが、先に挙げた様に現在の建築士法の範囲で可能な改善はして戴きました。しかし建築士法にはっきりとした文言を加えてもらう最終目標には届いておりません。その最終目標は建築士法の目的の項に「設備部門にあっては建築設備士もできる」としてもらいたいのです。歴代（4名）の国土交通省住宅局長に頻繁に必要性を要望したものの、意味はご理解されているようですが、その「も」が難しいとの回答で足踏みをしているところであります。

我々がなぜ法的な位置付けが必要なのか会員及び関係各位は理解されていると思いますが、既に建築技術と設備技術とは別の専門技術分野になっており、故にそれぞれが相協力をして、より良い建築物を造るべくその専門技術分野を担うべきです。現実には設備技術分野は元請、下請という形で設備技術者（建築設備士）が行なっているにも関わらず、建築士法で建築士（1級、2級）が行なっていることになっており、建築士法が実態に合っていない時代遅れの法律になっている、その士法で建築士がオールマイティーになっているために設備技術の担当能力が無いにも関わらず設備分野まで受注をし、その業務をブローカーのようなやり方、又、モラルに反したやり方をする建築事務所ができ、質を落とす原因ともなり施主を裏切ることになり兼ねないので、品質を守っていく品確法の面からも、消費者保護の面からも設備分野についてどの資格者が責任を持つべきか明確にすべきであると思います。特に税金で行う公共事業においては許されるべきではないと思います。

政府は資格の要件として規制緩和の推進を図るため国民が平等に知識、技術を発揮できるように見直すべきと平成10年に閣議決定してから7年余りが経過していますが、我々の設備設計分野は置き去りになっています。我々も国民です。そのためにも設備設計議員連盟を作って戴き政治的に取り組んでもらい、いよいよ最終目標に向かって動き出した矢先に衆議院解散となり、今後どうなっていくのかと心配しているところです。

法的に位置付けられることが設備業界全体を底上げし発展していくことと、これから参入しようとする次世代の方々に希望を与え、人間が生活していくために必要な建築物がある限り必要な職能技術であり、又、省エネ、防災、福祉と環境問題の観点からも政府はその必要性を認識して建築士法において建築士と建築設備士とを明確に位置付けるべきだと思います。そのために我々自身の問題として会員及び関係各位が団結して強く訴えていく必要があります。社団法人静岡県設備設計協会会員の皆様も40周年を期に目標達成のため、一人一人が努力して戴き、一緒に頑張っていければと思います。

創立40周年にあたり貴協会の更なる発展と会員の皆様の一致団結を願いお祝いのご挨拶とさせていただきます。

創立40周年記念式典

平成17年11月11日（金） ホテルアソシア静岡ターミナル駿府の間

1 記念講演 午後2時～3時30分（司会：名波理事）

- 1) 講師紹介
- 2) 講 師 久能山東照宮宮司・博物館館長 落合 偉洲 様
- 3) 演 題 「歴史に学ぶ」（久能山東照宮、上杉鷹山）
- 4) 講師プロフィール
 1. 昭和22年宮崎県に生まれる。
 2. 昭和50年3月國學院大學大学院文学研究科神道学専攻（博士課程）修了と共に神社本庁録事となる。
 3. 昭和54年神社本庁主事、昭和58年國學院大學兼任講師となる。
 4. 昭和61年神社本庁参事、平成3年神社本庁総務部長に就任。
 5. 平成11年久能山東照宮権宮司となる。
 6. 平成14年久能山東照宮宮司及び久能山東照宮博物館館長に就任し現在に至っている。
 7. その他、（社）全国国宝重要文化財所有者連盟理事、静岡県重要文化財等所有者連絡協議会会長、静岡県神社庁協議会議長、石州流華道高林会会長、東照宮連合会副会長等を歴任。
 8. 平成16年2月17日「神道の周辺」を（株）おうふうから発行。

2 記念式典 午後3時45分～4時45分（司会：宮田量子）

- 1) 開会の辞 実行委員長 小林 康秀
- 2) 会長挨拶 会 長 手塚 正一
- 3) 来賓紹介
- 4) 来賓祝辞 県知事代理 静岡県都市住宅部部長 山村 善敬 様
参議院議員 竹山 裕 様
国土交通省中部地方整備局営繕部設備課長 丸田 茂 様
（社）日本設備設計事務所協会会長 福西 輝男 様
- 5) 祝電披露
- 6) 感謝状及び表彰状贈呈 会 長 手塚 正一
- 7) 閉会の辞 実行副委員長 植田 賢司

3 記念祝賀会 午後5時～7時（司会：宮田量子）

- 1) 開会の辞 理 事 佐々木哲男
- 2) 会長挨拶 会 長 手塚 正一
- 3) 来賓祝辞 顧問県議会議員 堀江 龍一 様
（社）日本設備設計事務所協会副会長 尾崎 光昭 様
- 4) 乾杯挨拶 （社）静岡県建築士事務所協会会長 山崎 善利 様
- 5) 祝 宴
- 6) 昔のあかりの展示説明 由比宿東海道 あかりの博物館 片山 光男 館長
- 7) 中締め 理 事 曾布川尚民 様
- 8) 閉会の辞 理 事 山本 孝行

来賓招待者名簿（順不同）

○静岡県知事代理

静岡県都市住宅部部長 山村 善敬 様

○議員関係

参議院議員 竹山 裕 様 顧問静岡県議会議員 堀江 龍一 様

○官公庁

国土交通省中部地方整備局営繕部設備課長 丸田 茂 様 静岡県都市住宅部部長 山村 善敬 様
静岡県都市住宅部営繕総室営繕総室長 荻田 英之 様 静岡県都市住宅部営繕総室設備室長 鈴木 一敏 様

○日設協関係

(社)日本設備設計事務所協会会長 福西 輝男 様 (社)日本設備設計事務所協会副会長 尾崎 光昭 様
(社)日本設備設計事務所協会中部ブロック員外理事 井上 年和 様

○講 師

久能山東照宮宮司・博物館館長 落合 偉洲 様

○都道府県協会関係

三重県設備設計事務所協会会長 伊藤 憲司 様 (社)東京都設備設計事務所協会副会長 堀竹 英弘 様
岐阜県設備設計事務所協会会長 松尾 仁 様 京都設備事務所協会会長 松井 始 様
岐阜県設備設計事務所協会常務理事 原田 浩二 様 山梨県設備設計協会会長 吉澤 隆夫 様
滋賀県設備設計事務所協会会長 宮城 學 様 (社)日本設備設計事務所協会山梨県支部長 赤澤 洋夫 様
滋賀県設備設計事務所協会副会長 北川 進 様 福井県設備設計事務所協会会長 松山 憲雄 様
(社)広島県設備設計事務所協会会長 佐藤 大三 様 長野県設備設計協会会長 保高 敬夫 様
(社)石川県設備設計監理協会会長 村島外三雄 様 (社)日本設備設計事務所協会福島県支部長 二瓶 嘉人 様
(社)新潟県設備設計事務所協会会長 山口 和明 様 千葉県設備設計事務所協会会長 松井 道雄 様
和歌山県設備設計事務所協会会長 市川 正夫 様

○関係団体

(社)静岡県建築士会会長 飯田恵一郎 様 (財)静岡県建築住宅まちづくりセンター専務理事 青山 巖 様
(社)静岡県建築士事務所協会会長 山崎 善利 様 (社)建築設備技術者協会中部支部静岡支所長 岡野 公彦 様
(社)静岡県設備協会副会長 村松 文雄 様 (社)静岡県設備協会副会長 高木 康生 様
(社)日本建築学会東海支部静岡支所長 竹内 明正 様 (社)日本建築家協会東海支部静岡地域会会長 大石 郁子 様
静岡設計監理協同組合理事長 眞田 昇 様 (社)静岡電業協会会長 増田 玲司 様
静岡県水処理協会会長 大石 憲義 様 (社)静岡県冷凍空調工業会会長代理常務理事 坂本 雅彦 様
有限責任中間法人静岡県フロン回収事業協会代表理事 鳥波 益男 様 (社)静岡県管工事工業協会会長 澤野總一郎 様
(社)静岡県浄化槽協会理事長 鈴木英三郎 様 (社)建築設備技術者協会中部支部静岡副支所長 藁科 逸雄 様

○報道関係

建通新聞社代表取締役 内藤 勇 様 建通新聞社静岡支社長 平岡 敏彦 様

○諸先輩

第3代会長 山下 高明 様 元理事 小柳 克彦 様

○元理事

静岡県都市住宅部営繕総室設備室技監 稲葉 貢 様 静岡県都市住宅部営繕総室設備室専門監 高柳 和夫 様
静岡県都市住宅部営繕総室設備室主幹 石上 勝也 様

○感謝状受賞者等

田子浦校区子ども会ジュニアリーダースクラブ 三ツ木えりか 様 田子浦校区子ども会育成者連絡協議会育成部長 廣瀬 孝徳 様

○由比宿東海道あかりの博物館館長 片山光男ご夫妻

20周年記念式典



昭和60年11月16日(土) クーポール会館 於

30周年記念式典



平成7年11月16日(木) ホテルアソシア静岡ターミナル 於

40周年記念式典



昭和17年11月11日(金) ホテルアソシア静岡 駿府の間 於

表彰者



(左より) 小林順、三ツ木えりか、杉山芳教、白鳥茂雄、志賀正紀、荒牧弘芳、伴賢二、
中田樹臣、手塚正一、小柳克彦、寺田尚弘、上杉勇

感 謝 状 田子浦校区子ども会 ジュニアリーダースクラブ 三ツ木えりかさん

40年表彰 伴 賢二

30年表彰 志賀正紀、白鳥茂雄、中田樹臣

20年表彰 手塚正一、小柳克彦、寺田尚弘、上杉 勇、小林順、杉山芳教、荒牧弘芳

(敬称略)

40周年記念式典



記念講演 講師 久能山東照宮 落合偉洲宮司様

記念講演会場風景



昔のあかり展示風景



記念式典 手塚会長挨拶



記念式典

40周年記念式典



記念式典来賓祝辞（静岡県知事代理山村都市住宅部長）



記念式典来賓祝辞（竹山裕参議院員）



記念式典来賓祝辞（福西輝男日設協会長）



記念式典会場風景

40周年記念祝賀会



記念祝賀会手塚会長挨拶



記念祝賀会堀江龍一顧問祝辞



記念祝賀会乾杯音頭(山崎善利静岡県建築士事務所協会会長)



記念祝賀会パーティー会場風景



記念祝賀会昔のあかり点火風景



記念祝賀会昔のあかり展示風景



記念祝賀会中締め曾布川尚民賛助会員会長

20周年記念式典



昭和60年11月16日(土) クーポール会館 於



伴会長ヨリ 挨拶

設立時メンバー会員の感謝状贈呈



20周年記念式典

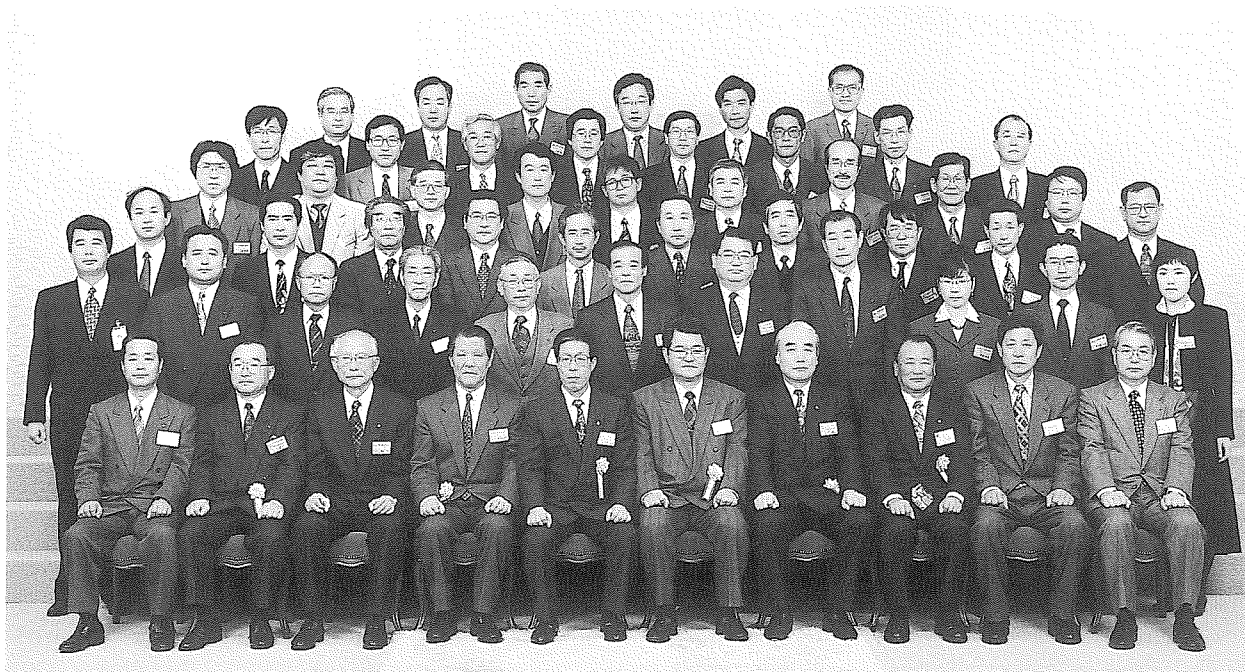


賛助会会長 乾杯の音頭

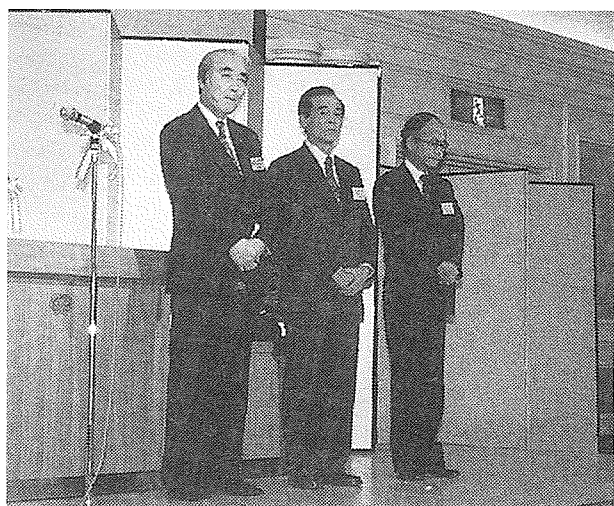


記念パーティー会場風景

30周年記念式典



創立30周年記念式典



会員歴30年となる者

左：(株)パブリック設備研究所

伴 賢二 君

中：小長谷建築設備事務所

小長谷 茂 君

右：(有)池谷設備設計研究所

池谷 昭三 君

30周年記念式典 祝賀会



記念パーティー会場風景



乾杯の音頭



設立総会

平成13年1月25日





環境の世紀

持続可能な社会をめざして

静岡県都市住宅部 設備室長 鈴木 一 敏

社団法人 静岡県設備設計協会が静岡県設備設計事務所協会として設立してから、今年で40年という節目の年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方がここまで盛り上げて来られたことに対し、敬意を表するとともに日頃から本県の営繕行政へご支援ご協力を賜わり、厚くお礼申しあげます。

先般、京都議定書が発効され、地球温室ガスを14%削減することが、課題となっています。ある雑誌に世界が刻々と変化している様子を「1秒の世界」で紹介していました。

〔1秒間に大型トラック63台分、252トンの化石燃料を使用され…〕

〔1秒間に体育館32棟分、762トン、39万㎡のCO₂が排出されています〕

〔1秒間に地表の平均気温が0.00000000167℃上昇し…〕この50年間に0.43℃上昇した。この最大の原因はCO₂の排出だと考えられており、2100年までに5.8℃上昇すると予測されています。

我が国の二酸化炭素の総排出量の約1／3が建築分野から排出されており、いま建築の分野においても環境への負荷の少ない「環境配慮型建築物への誘導」が求められる時代になって来たと考えております。

この時代の流れをつくるのが、環境負荷の低減と同時に質の確保も視野に入れた建築物の総合評価システム『CASBEE』です。都市住宅部では、『静岡県版CASBEE』の策定にむけて、準備をすすめているところであります。制度としては、建築主の方の環境に対する自主的な取組みを促進し、持続可能な社会に配慮した建築物への誘導を図るものです。

この制度が軌道に乗れば、快適空間への誘導が一段と進むものと考えています。

21世紀は、「環境の世紀」、地球規模で環境問題を考える時代です。建築主にとって建築設備関係者からの情報発信が、建築デザイン以上に重要であると考えておりますので、会員の皆様方の一層のご努力と研鑽、また法人としての社会貢献をご期待申し上げます。

最後に社団法人 静岡県設備設計協会のますますの発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして挨拶いたします。

社団法人 静岡県設備設計協会

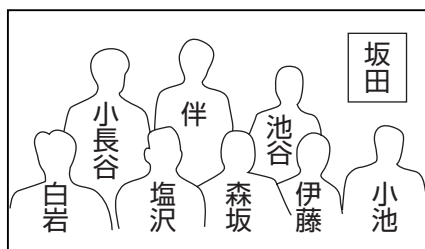
40年のあゆみ

1965

昭和40年

日韓基本条約成立
朝永博士、ノーベル賞
受賞
アメリカがベトナム戦
争直接介入、北爆開始

4月 設立総会（9社にて発足）



昭和40年4月 発足当時のメンバー

1966

昭和41年

米、“サーベイヤー”
月に軟着陸

4月 通常総会開催



塩沢副会長

森坂会長

1967

昭和42年

モントリオール万国博開催
中東動乱（スエズ運河閉鎖）

4月 通常総会開催
県営繕課と懇談会

1968

昭和43年

ソ連と東欧軍がチェコ侵犯

4月 通常総会開催

1969

昭和44年

東名高速道路全通
アポロ月面着陸

4月 通常総会開催
（会員15社）



人類初の月面着陸

1970

昭和45年

日本万国博を大阪で開催

3月 通常総会開催
（会員14社）



太陽の塔

1971

昭和46年

沖縄返還協定調印式
円の変動相場制移行
を決定

5月 通常総会開催



坂田新会長



山下副会長

1972

昭和47年

札幌で冬季オリンピック
開催
田中通産相、日本列
島改造論発表
あさま山荘事件

4月 県営繕課と懇談会
通常総会開催
(会員17社)



1973

昭和48年

パリでベトナム和平協定
第4次中東戦争（オイル
ショック始まる）
ドル10%切り下げ、円は
変動相場制に移行

5月 通常総会開催（会員22社）
(事業、技術、業務の3委員会発足)

県営繕課と懇談会

12月 臨時総会開催（会員21社）



山下新会長



小池副会長

1974

昭和49年

ルバング島で発見された
小野田少尉帰国
三菱重工本社で爆破事
件、七夕豪雨

6月 通常総会開催（会員21社）

10月 住宅展



巴川浸水状況 静岡市清水（現静岡市）清水渋川

1975

昭和50年

山陽新幹線博多まで開通
沖縄海洋博開催

5月 通常総会開催（会員23社）

12月 臨時総会開催（会員22社）



小池新会長



伴副会長

1976

昭和51年

ロッキード事件、田中前
首相逮捕
毛沢東主席死去

- 5月 通常総会開催（会員21社）（総務委員会発足）
県営繕課と懇談会
- 7月 設備協会と懇談会

1977

昭和52年

北海道有珠山噴火
領海法案等成立（領海12カイ
リと200カイリ漁業水域設定）

- 5月 通常総会開催
県営繕課と懇談会

1978

昭和53年

国内構造不況深刻（完全失業
者141万人で20年来の最悪）
日中平和友好条約締結
伊豆大島近海地震、宮城
県沖地震
成田空港開港

- 1月 静岡市設備設計協議会発足
- 6月 通常総会開催（会員21社）
県都市住宅部と懇談会
- 12月 住宅展

1979

昭和54年

- 2月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（名古屋市 9県）
- 6月 通常総会開催
県関係各課と懇談会
- 9月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（新潟市 9県）
- 10月 協会便り発行



第三回 設備設計協会連絡会（新潟市 於て）

1980

昭和55年

防衛庁スパイ事件発覚
イラン・イラク戦争勃発
静岡駅前地下街ガス爆発
自動車生産台数世界一となる（11,042,884台）

- 2月 全国設備設計事務所協会連絡会開催（第4回）（静岡市 9県）
- 3月 中部電業協会と懇談会
- 8月 住宅展
- 9月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（横浜市 11県）
- 12月 通常総会開催（全員37社）



1981

昭和56年

神戸ポートピア'81始まる
日本製産業ロボットが世界を席巻
サダト、エジプト大統領暗殺される

- 2月 通常総会開催（会員40社）
全国設備設計事務所協会連絡会出席（福岡市）
- 5月 県関連各課と懇談会
- 10月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（名古屋市）
- 11月 住宅展



塩沢会長



大竹副会長



伴副会長

1982

昭和57年

ホテルニュージャパン火災
フォークランド紛争起こる
東北新幹線（大宮～盛岡）、上越新幹線開業

- 3月 通常総会開催（会員40社）
- 4月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（広島市）

1983

昭和58年

初の全国区比例代表制による参院選
大韓航空機、ソ連機に撃墜される
東京ディズニーランド開園
三宅島大噴火

- 3月 通常総会開催（会員40社）
- 4月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（浦和市 16府県）
- 5月 県関係各課と懇談会
- 6月 住宅展



大竹会長



白鳥副会長



伴副会長

1984

昭和59年

上村直巳、マッキンリー
登頂後消息不明に
怪人21面相『毒入グリコ
製品』で無差別脅迫
ロス五輪開幕
インド、ガンジー首相射
殺される
新札発行（1万円、5千
円、千円）

- 2月 通常総会開催（会員41社）
- 4月 全国設備設計事務所協会連絡会出席（高松市 31府県）
- 5月 県関各係課と懇談会
- 9月 住宅展
- 11月 設備協会と懇談会
- 12月 『日本設備設計事務所協会連合会』（設事連）
発会式参加（東京日本青年館）
臨時総会開催



伴新会長



白鳥副会長



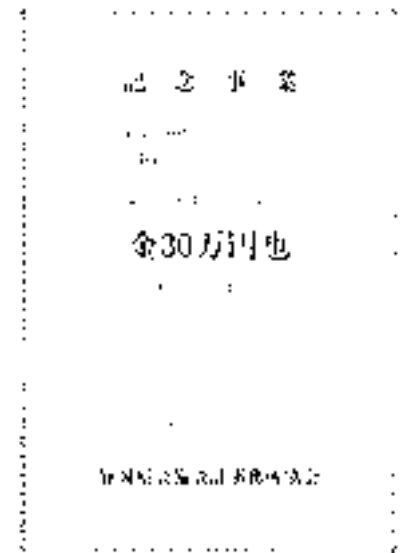
志賀副会長

1985

昭和60年

N T T、たばこ産業民営
化スタート
日航ジャンボ機、群馬県
御巢鷹山に激突死者520
人
メキシコ大地震

- 2月 通常総会開催（会員41社、賛助会員82社）
- 3月 静岡県設備設計事務所共同企業体発足（9 J V）
- 5月 県関係各課と懇談会
- 6月 建築設備電力委員会参加
- 7月 第2回設事連総会出席（大阪市）
- 10月 『浜松リビングショー'85』参加
- 11月 臨時総会開催（協会マーク発表）
創立20周年記念式典
（（財）静岡県ふれあい基金財団に
金30万円贈呈）
- 12月 設事連1周年記念大会出席



創立20周年記念誌ヨリ



創立20周年記念式典



静岡県ふれあい募金財団への贈呈式

1986

昭和61年

フィリッピン、マルコス亡命
アキノ婦人大統領に就任
チェルノブイリ原子力発電所爆発
三原山大噴火
円高急進、1ドル152円55銭に
建築設備士制度施行

- 2月 通常総会開催（会員42社）
- 4月 設事連理事会出席（倉敷市）
- 6月 県関係各課と懇談会
経団連ゲストハウス、バイオ施設見学会
- 8月 第3回設事連総会出席（金沢）
- 10月 住宅展

1987

昭和62年

国鉄が民営化『J R』スタート
第3日新丸、最後の捕鯨

- 1月 新年名刺交換会
- 2月 設事連理事会出席（蒲郡市）
通常総会開催（会員42社）
- 6月 県関係各課と懇談会
- 7月 第4回設事連総会出席（伊香保）
静岡市公共建築課と懇談会（中部地区）
セツビクラブ発会（中部地区）
- 9月 第23回住宅展
設備協会と懇談会（東部地区）
- 11月 設備協会と懇談会（中部地区）
設事連理事会出席（東京都）

1988

昭和63年

青函トンネル開通
瀬戸大橋開通

- 1月 新年名刺交換会
- 2月 通常総会開催（会員42社、広報委員会発足）
- 4月 第5回設事連理事会出席（熱海市）
『E P C』発会（東部地区）
- 6月 瀬戸大橋研修旅行
県関係各課と懇談会
- 7月 広報紙『風とあかり』創刊号発刊
第5回設事連総会出席（福岡市）
- 9月 研修会開催（藁科川）
- 10月 第24回住宅展
設事連理事会出席（東京都）



静岡県関係各課と懇談会



瀬戸大橋研修会



広報紙創刊号発刊作業

1989

平成元年

天皇陛下崩御、年号が平成になる

天安門事件

ベルリンの壁崩壊

- 2月 通常総会開催（会員44社）
- 6月 県関係各課と懇談会
- 8月 第6回設事連通常総会出席（名古屋市）
夏季研修会開催（奥浜名湖）
- 9月 第25回住宅展
- 11月 研修会開催（アイホン（株）豊田工場）
設事連中部ブロック研修会（金沢市）



夏期研修会



県関係各課と懇談会

1990

平成2年

礼宮さまと川嶋紀子さま結婚の儀

イラク軍がクエート領内に侵攻

統一ドイツ誕生

創立25周年

- 1月 静岡県都市住宅部設備室と懇談会
新年名刺交換会
- 2月 通常総会開催（会員47社、法人化準備委員会発足）
- 4月 設事連臨時総会出席（東京都）
- 8月 設事連通常総会出席（東京都）
- 9月 夏季研修会開催（奥浜名湖）
- 10月 第26回住宅展
住振協・視察研修会参加（多摩ニュータウンベルコリース南大沢）
- 11月 設事連中部ブロック会主催（中部6県、伊豆長岡町）
建築基準法施行40周年記念祝賀会参加



県設備室と懇談会



日本設備設計連合会中部ブロック会
於伊豆長岡温泉 安田家 1990.11.4

1991

平成3年

湾岸戦争勃発
雲仙、普賢岳噴火
信楽鉄道の事故
ソ連邦共産党の解体
マラソンの谷口金メダル
金融不祥事が続発
千代の富士引退
掃海艇ペルシャ湾派遣

- 1月 新年祝賀交換会（クーポール会館）
- 2月 平成3年度通常総会（会員46社）
- 7月 設事連臨時総会出席
- 8月 設事連総会出席（広島グランドホテル）
- 9月 浄化槽技術講習会共催
設事連、国会議員懇談会（自民党会館）
- 10月 研修会（新潟、柏崎刈羽原子力発電所）
電力中央研究所視察（赤城山）
- 11月 「静岡県住宅展」参加
- 12月 技術講習会（東芝富士工場）



電力中央研究所視察



柏崎刈羽原子力発電所研修会



1992

平成4年

佐川献金疑惑で金丸議員
辞職
PKO協力法成立
貴花田と宮澤りえ婚約
毛利さん、宇宙へ
バルセロナオリンピック
で金メダル22個
天皇陛下中国訪問
エイズ対策本格的に始まる
景気後退を政府が宣言
ブッシュ大統領夫妻来日

- 1月 新年賀詞交歓会（クーポール会館）
福井県設備設計協会10周年記念式典出席（福井市）
- 2月 通常総会開催（会員48社）
- 5月 （社）静岡県設備協会通常総会出席
静岡県住宅振興協議会通常総会出席
（社）静岡県建築士事務所協会通常総会出席
- 7月 協会顧問堀江静男氏の叙勲を祝う会出席
- 8月 設事連「平成4年度通常総会」出席
- 9月 静岡県未利用エネルギー研究会出席
「静岡県住宅展」参加
- 10月 三重県設備設計管理協会
10周年記念式典出席（四日市市）
設事連中部ブロック会議出席
（福井県芦原）
- 11月 技術講演会（水処理協会共催）



技術講演会

1993

平成 5 年

皇太子様、雅子様ご結婚
細川連立内閣スタート
北海道南西沖地震発生
サッカーＪリーグ開幕
ゼネコン汚職拡大
コメ緊急輸入
冷夏、異常気象が襲う
大型不況が深刻化
初の外国人横綱「曙」誕生
エリツイン大統領来日

- 1 月 新年賀詞交歓会（クーポール会館）
- 2 月 平成 5 年度通常総会（会員50社）
- 4 月 協会新事務局開設
（東京堂ビル208号）
- 5 月 静岡県設備室と三役懇談会
東海 4 県設備設計懇親会（岐阜市）
- 6 月 静岡県消防施設業協会創立20周年記念式典出席
- 7 月 （社）建築設備技術者協会中部支部役員会出席
納涼懇親会（清水港）
研修会（松下電器産業（株）藤沢工場見学）
- 8 月 設事連通常総会出席（千葉・幕張メッセ）
- 9 月 「静岡県住宅展」参加
- 10月 設事連中部ブロック会議出席（富山市）
- 11月 講演会「世界の台所」共催（静岡県女性総合センター）
- 12月 協会忘年会（焼津市・松風閣）
「風とあかり」第11号発行



新年賀詞交歓会



忘年会 焼津松風閣

1994

平成 6 年

記録的猛暑、水不足
向井さん、宇宙へ
長島巨人、日本一
中華航空機名古屋で着陸
失敗
松本でサリン事件発生
関西空港が開港
北海道東方沖で大地震
円高加速、100円突破
広島アジア大会開催

- 1 月 新年賀詞交歓会（クーポール会館）
（社）建築設備技術者協会中部支部役員会出席
- 2 月 平成 5 年度公共建築物保全指針策定委員会出席
平成 6 年度通常総会（会員59社）
- 3 月 東海 4 県設備設計懇談会出席（静岡市）
平成 5 年度公共建築物保全指針策定委員会出席
- 4 月 県通新聞社主催「県の新入札・契約制度」説明会出席
- 5 月 静岡県住宅振興協議会通常総会・10周年記念式典出席
（社）大阪建築設備設計事務所協会設立記念式典出席
- 6 月 静岡県設備室との懇談会
- 7 月 設事連通常総会出席（新潟市）
- 9 月 設事連中部ブロック会議出席（岐阜県）
「風とあかり」12号発行
第30回静岡県住宅展参加
- 10月 （社）石川県設備設計監理協会創立20周年記念行事出席（金沢市）
岐阜県設備設計事務所協会創立10周年記念行事出席（岐阜市）
設備技術者講習会（東部・中部・西部）
- 11月 愛知県設備設計監理協会創立20周年記念行事出席（名古屋市）
静岡県住宅振興協議会視察研修会参加（横浜市）
- 12月 設事連臨時総会出席（東京都）
協会忘年会（焼津市・焼津グランドホテル）



忘年会 焼津グランドホテル



東部地区会 「EPC」千本浜 綱引き

1995

平成 7 年

阪神大震災発生
 オーム地下鉄サリン事件発生
 沖縄米軍基地問題紛糾
 東京、都市博中止
 景気低迷で空前の就職難中、仏核実験
 参議院選で社会党大敗
 公定歩合、史上最低の0.5%
 バブル崩壊の付け金融不安

- 1 月 新年賀詞交歓会（クーポール会館）
- 2 月 静岡県未利用エネルギー研究会出席
 東海 4 県設備設計交流会出席
 平成 7 年度通常総会 創立30周年記念行事計画スタート
 阪神大震災義援金拠出
- 3 月 設事連・（社）設備設計家協会合同特別協議会出席
- 4 月 （社）日本設備設計事務所協会第36回臨時総会出席
- 5 月 平成 7 年度静岡県住宅振興協議会通常総会出席
 （社）日本設備設計事務所協会第37回通常総会出席
- 6 月 創立30周年記念事業実行委員会発足
 静岡県設備室との懇談会
- 7 月 「風とあかり」第13号発行
- 8 月 「静岡県住まいの文化賞」
 第 1 回実行委員会出席
 創立30周年記念事業実行委員会
 建築設備関連団体意見交換会
 （第 1 回組織作り発起人会）出席
- 9 月 創立30周年記念事業実行委員会
 建築設備関連団体意見交換会
 （第 2 回組織作り発起人会）出席
 （社）日本設備設計事務所協会
 北陸甲信越ブロック・中部ブロック理事及び各県代表者会議出席
- 10月 創立30周年記念事業実行委員会
 第31回静岡県住宅展参加
- 11月 （社）J I A「第 7 回95建築フェア」出席
 創立30周年記念事業実行委員会
 創立30周年記念式典（静岡市ホテルアソシア）
- 12月 建築設備関連団体連絡会（仮称）発足準備会出席
 「建築設備ライフライン対策事業」連絡会議出席



研修会



創立30周年記念式典

1996

平成8年

ペルー大使館公
邸人質事件
オウム松本被告
初公判
小選挙区で初の
総選挙

- | | | |
|-----|---|---|
| 1月 | 新年賀詞交歓会
(社) 日本設備設計事務所協会新年名刺交換会 (志賀会長、伴理事出席)
(社) J I A 静岡「新年賀詞交歓会」(志賀会長出席)
「県住まいの文化賞」第3回実行委員会 (荒牧副会長出席) | |
| 2月 | 第9回理事会 (県建築課、設備室との意見交換)
静岡県設備関係団体連絡会運営委員会 (志賀会長、酒井専務理事出席) | |
| 3月 | 第31回住宅展実行委員会 (村上会員出席)
静岡県未利用エネルギー研究会 (池谷会員出席)
「建築設備ライフライン対策事業」連絡会議 (志賀会長出席) | |
| 4月 | 第1回理事会
高知県設備設計事務所協会設立10周年記念懇親会 (志賀会長出席)
(社) 新日本建築家協会東海支部静岡部会1996年度通常総会 (荒牧副会長出席) | |
| 5月 | 平成8年度静岡県住宅振興協議会通常総会
「住まいの文化賞」表彰式・懇親会 (荒牧副会長・名波会員出席)
第2回理事会
第38回 (社) 日本設備設計事務所協会通常総会 (志賀会長・伴理事出席)
第2回 (社) 日設協中部・北陸甲信越ブロック会議 (志賀会長・伴理事出席)
第35回 (社) 静岡県設備協会通常総会 (志賀会長出席)
平成8年度通常総会
平成8年度 (社) 静岡県建築士事務所協会通常総会 (志賀会長出席) | |
| 6月 | 新浄化槽構造基準解説講習会
(静岡県水処理協会と共催) | 静岡市・もくせい会館 |
| | 第3回理事会 | 協会事務局 |
| 7月 | 法人化委員会
「風とあかり」第14号発行 | 協会事務局 |
| 8月 | 静岡県住宅展第1回運営事務局員会議
(名波会員出席)
第4回理事会 | 静岡市・静岡県庁
協会事務局 |
| 9月 | 第32回静岡県住宅展 | 静岡市・ツインメッセ静岡 |
| 10月 | 天然ガス研修会
第5回理事会 | 清水市・清水エル・エヌ・ジー (株)
協会事務局 |
| 11月 | 茨城県設備設計協会創立15周年記念式典
(志賀会長出席)
光アクセスシステム施設見学会
東京電力施設見学会 | 水戸市・水戸プラザホテル
静岡市・NTT静岡支店
千葉県内・船橋コンピューターセンター
新エネルギーパーク ほか |
| 12月 | 第6回理事会 | 協会事務局 |



新年賀詞交歓会



千葉県高津 新エネルギーパーク研修会

1997

平成9年

香港、中国に返還
デンバーサミット、ロシアが参加しG8に。
消費税5%スタート

- | | | |
|-----|--|--|
| 1月 | 新年賀詞交歓会
(社)日本設備設計事務所協会新年名刺交換会
(志賀会長・伴理事出席)
(社)日本設備設計事務所協会中部ブロック会議
(志賀会長・伴理事出席) | 静岡市・クーボール会館
東京都・明治記念館

名古屋市・ホテルプラ王山 |
| 2月 | 建設設備耐震診断技術者養成講習会(静岡県主催)
(社)岡山県設備設計事務所協会設立記念式典(伴理事出席)
第7回理事会 | 静岡市・静岡音楽館AOI
岡山市・ホテルグランピア
協会事務局 |
| 3月 | 未利用エネルギー研究会(池谷会員出席)
静岡県住宅展第2回運営事務局員会議(名波会員出席) | 静岡市・静岡県庁
静岡市・静岡県庁
協会事務局 |
| 4月 | 第1回理事会
(社)JIA静岡1997年度総会(志賀会長出席) | 静岡市・静岡ステーションホテル
協会事務局
協会事務局 |
| 5月 | 法人化委員会
第2回理事会
平成9年度静岡県住宅振興協議会通常総会(名波会員出席)
沼津設計監理協同組合発会式(志賀会長出席)
第36回(社)静岡県設備協会通常総会(志賀会長出席)
平成9年度(社)静岡県建築士事務所協会通常総会
(手塚副会長出席)
第39回(社)日本設備設計事務所協会通常総会(伴理事出席)
平成9年度通常総会 | 静岡市・クーボール会館
沼津市・沼津東急ホテル
静岡市・日興会館
浜松市・グランドホテル浜松

東京都・明治記念館
静岡市・クーボール会館
協会事務局 |
| 6月 | 第3回理事会
静岡県設備課との懇談会 | 静岡市・クーボール会館
東京都・(財)全水道会館
岐阜市・ホテルパーク |
| 7月 | 第40回(社)日本設備設計事務所協会臨時総会(伴理事出席)
(社)日本設備設計事務所協会
中部ブロック懇話会(志賀会長、伴理事出席) | 協会事務局
静岡市・日興会館
東京都・(財)全水道会館 |
| 8月 | 第4回理事会
住宅展第1回運営事務局員会議(名波会員出席)
(社)日本設備設計事務所協会第4回評議会
(志賀会長、伴理事出席) | 協会事務局
清水市・清水市役所
静岡市・クーボール会館
金沢市・ホテル日航金沢 |
| 9月 | 第5回理事会
設備設計相談
住振協事務担当者会議(名波会員出席) | 協会事務局
静岡市・静岡タウンホテル魚与
協会事務局 |
| 10月 | (社)日本設備設計事務所協会第3回北陸甲信越
中部ブロック会議(志賀会長、伴理事出席)
第6回理事会
賛助会員会新旧役員との懇談会 | 磐田市・磐田市役所
伊豆長岡町・安田家
協会事務局
藤枝市・藤枝市役所 |
| 11月 | 第7回理事会
設備設計相談
協会忘年会 | |
| 12月 | 第8回理事会
設備設計相談 | |



耐震診断講習会



忘年会

1998

平成10年

1月~
7月

長野オリンピック
開催
第16回サッカー
ワールドカップ
初出場

1月	新年賀詞交歓会 第9回理事会 (社) 日本設備設計事務所協会第5回評議会 (志賀会長、伴理事出席) (社) 日本設備設計事務所協会新年名刺交換会 (志賀会長、伴理事出席)	静岡市・クーボール会館 協会事務局 東京都・東陶機器(株) 新宿エルタワー会議室 東京都・明治記念館
2月	設備設計無料相談 設備設計無料相談 静岡設計監理協同組合創立10周年記念行事 (志賀会長出席) 平成9年度第10回理事会 「風とあかり」第16号発行	磐田市・磐田市役所 清水市・清水市役所 静岡市・ホテルアソシア 静岡ターミナル 協会事務局
3月	(社) 日本設備設計事務所協会平成9年度 設備設計研修会(担当: 中部ブロック) 静岡県住宅展第2回運営事務局会議(名波会員出席)	名古屋市・東邦ガス(株) 栄ガスホール 静岡市・静岡県産業経済会館 協会事務局
4月	平成10年度第1回理事会 設備設計無料相談 設備設計無料相談 県設備課との協議(法人化) (社) J I A 1998年総会(志賀会長出席)	磐田市・磐田市役所 浜松市・駅前相談所 協会事務局 静岡市・静岡ステーションホテル 協会事務局
5月	平成10年度第2回理事会 設備設計無料相談 設備設計無料相談 (社) 日本設備設計事務所協会第41回通常総会 (志賀会長、伴理事出席) (社) 静岡県設備協会第37回通常総会 (志賀会長出席) 平成10年度通常総会	浜松市・駅前相談所 藤枝市・藤枝市役所 東京都・明治記念館 静岡市・日興会館
6月	設備設計無料相談 設備設計無料相談 平成10年度第3回理事会 静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」見学会	静岡市・クーボール会館 清水市・清水市役所 浜松市・駅前相談所 協会事務局 静岡市・池田地内
7月	中部電力(株)「'98電力蓄熱展」(協賛) (社) 日本設備設計事務所協会全国事務局長会議	静岡市・ツインメッセ静岡 東京都・明治記念館



新年賀詞交歓会

1998

平成10年

8月~
12月

8月

- 2 日(日) 第3回住宅展実行委員会
- 5 日(水) 住宅展第1回運営事務局会議(山森委員出席)
- 8 日(土) 平成10年度第4回理事会
- 12日(水) 設備設計無料相談
- 18日(火) 設備設計無料相談
- 20日(木) 第4回住宅展実行委員会

協会事務局
静岡市・県産業経済会館
協会事務局
浜松市・駅前相談所
藤枝市・藤枝市役所
協会事務局

9月

- 5 日(土) 第5回住宅展実行委員会
 - 5 日(土) 平成10年度第5回理事会
 - 9 日(水) 設備設計無料相談(浜松市・駅前相談所)
 - 12日(土) 〃
 - 15日(火) '98住まい博・静岡県住宅展出展
 - 16日(水) 設備設計無料相談
 - 17日(木) 県設備課との懇談会
 - 28日(月) 県有建築物コスト縮減ガイドライン策定委員会(志賀会長出席)
- 「風とあかり」第17号発行

協会事務局
協会事務局
浜松市・駅前相談所

静岡市・ツインメッセ静岡

藤枝市・藤枝市役所
静岡市・クーボール会館
静岡市・クーボール会館

10月

- 3 日(土) 平成10年度第6回理事会
- 7 日(水) 公共工事コスト縮減検討会(県設備課)
- 14日(水) 設備設計無料相談
- 20日(火) 設備設計無料相談
- 28日(月) 県有建築物コスト縮減ガイドライン策定委員会(志賀会長出席)

協会事務局
静岡市・県庁別館2階第3会議室A
浜松市・駅前相談所
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・クーボール会館

11月

- 11日(水) 平成10年度公益法人に関する講演会(多々良副会長、酒井専務理事出席)
- 13日(金) 住振協視察研修(酒井専務理事出席)
- 17日(火) 設備設計無料相談
- 19日(木) 日本建築士事務所協会第23回全国大会(志賀会長出席)
- 27日(金) 浜松市設備設計事務所協議会創立20周年記念式典(志賀会長出席)
- 28日(土) (社)静岡県建築士事務所協会10周年記念式典・懇親会(多々良副会長出席)

静岡市・静岡労政会館

愛知県・足助町おくら台団地分譲地
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・グランシップほか
浜松市・浜松名鉄ホテル

静岡市・日興会館

12月

- 4 日(金) 平成10年度第7回理事会

協会事務局



「住まい博」に出展

1999

平成11年

1月~
6月

東海村の核燃料
工場で国内初の
臨界事故
世界の人口が60
億人突破
マカオ、中国に
返還

1月

- 8日(金) 新年賀詞交歓会
- 13日(水) 設備設計無料相談
- 19日(火) 設備設計無料相談
- 29日(金) 平成11年建築四会合同賀詞交歓会（志賀会長出席）

2月

- 3日(水) 設備設計無料相談
- 10日(木) 設備設計無料相談
- 13日(土) 第8回理事会
- 13日(土) 設備設計無料相談
- 16日(火) 設備設計無料相談
- 「風とあかり」第18号発行

3月

- 10日(水) 設備設計無料相談
- 13日(土) 第9回理事会
- 16日(火) 設備設計無料相談
- 25日(木) 住宅展運営事務局会議（鈴木委員出席）

4月

- 7日(水) 設備設計無料相談
- 10日(土) 平成11年度第1回理事会
- 14日(水) 設備設計無料相談
- 19日(月) 改正建築基準法・施行令等説明会（志賀会長出席）
- 20日(火) 設備設計無料相談
- 23日(金) 空調用新冷媒の技術講習会

5月

- 8日(土) 第2回理事会
- 12日(水) 設備設計無料相談
- 18日(火) 設備設計無料相談
- 22日(土) 第3回理事会
- 26日(水) 平成11年度通常総会
- 27日(木) 県住宅振興協議会通常総会
- 31日(月) 酒井専務理事退任

6月

- 2日(水) 協会事務局引継
- 2日(水) 設備設計無料相談
- 8日(火) 第1回“しずおかエコロジー建築設計指針”策定検討会（志賀会長出席）
- 9日(水) 設備設計無料相談
- 10日(木) “県住まいの文化賞”第1回
- 19日(土) 第4回理事会

静岡市・ホテルセンチュリー静岡
浜松市・浜松市役所
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・日興会館

磐田市・磐田市役所
浜松市・浜松市役所
協会事務局
清水市・清水市役所
藤枝市・藤枝市役所

浜松市・浜松市役所
協会事務局
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・県産業経済会館

磐田市・磐田市役所
協会事務局
浜松市・浜松市役所
静岡市・県もくせい会館
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・J R 東海静岡社員センター

協会事務局
浜松市・浜松市役所
藤枝市・藤枝市役所
協会事務局
静岡市・ホテルセンチュリー静岡
静岡市・クーボール会館

協会事務局
磐田市・磐田市役所
静岡市・県庁西館

浜松市・浜松市役所
静岡市・県庁西館



新年賀詞交歓会

1999

平成11年

7月~
12月

7月

設備設計無料相談

設備設計無料相談

24日

第5回理事会

8月

設備設計無料相談

設備設計無料相談

設備設計無料相談

21日

第6回理事会

28日

岐阜県設備設計事務所協会設立祝賀会

9月

11日

第7回理事会

14日

第2回“しずおかエコロジー建築設計”策定検討会

18日

「風とあかり」第19号発行

設備設計無料相談

設備設計無料相談

10月

2日

第8回理事会

設備設計無料相談

設備設計無料相談

設備設計無料相談

11月

第9回理事会

12日

川勝平太氏講演会

24日

環境に関する講演会（松永晃氏）

12月

第10回理事会

協会忘年会

設備設計無料相談

設備設計無料相談

設備設計無料相談

9日

中部ブロック連絡会（志賀会長・伴理事）

12日

日設協地区代表者会議（伴理事）

浜松市・浜松市役所

藤枝市・藤枝市役所

浜松市・浜松市役所

藤枝市・藤枝市役所

磐田市・磐田市役所

岐阜県・長良川ホテル

静岡市・県庁西館

浜松市・浜松市役所

藤枝市・藤枝市役所

浜松市・浜松市役所

藤枝市・藤枝市役所

磐田市・磐田市役所

静岡市・グランシップ

静岡市・グランシップ

静岡市・クーボール会館

浜松市・浜松市役所

藤枝市・藤枝市役所

磐田市・磐田市役所



中部ブロック会



2000

平成12年

1月~
6月

中国がWHO世界貿易機構に加盟
有珠山と三宅島で噴火
シドニー五輪

1月

- 7日(金) 新年賀詞交歓会
- 11日(火) NTT講習会
- 12日(水) 設備設計無料相談
- 12日(水) 日設協賀詞交歓会 (志賀会長)
- 27日(木) 電気工事協同組合創立50周年記念式典 (小林副会長出席)
- 28日(金) 建築4団体合同賀詞交歓会 (志賀会長出席)
- 29日(土) 第11回理事会

静岡市・ホテルセンチュリー静岡
静岡市・NTT追手町ビル
浜松市・浜松市役所

静岡市・ホテルアソシア

静岡市・ホテルセンチュリー静岡
協会事務局

2月

- 2日(水) 設備設計無料相談
- 3日(木) 第3回“しずおかエコロジー建築設計指針”策定検討会 (志賀会長出席)
- 9日(水) 設備設計無料相談
- 10日(木) 循環型社会の水リサイクルを考えるシンポジウム (水処理協会共催)
- 15日(火) 「風とあかり」第20号発行
- 16日(水) 建設備室“設備設計技術検討会”
- 18日(金) 消防講習会

磐田市・磐田市役所
静岡市・県庁別館会議室

浜松市・浜松市役所
静岡市・ブケ東海静岡

静岡市・クーポール会館
静岡市・中電静岡営業所会議室

3月

- 8日(水) 設備設計無料相談
- 14日(火) 設備設計無料相談
- 17日(金) 3役及び賛助会役員会
- 18日(土) 第12回理事会

浜松市・浜松市役所
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・ブケ東海静岡
協会事務局

4月

- 5日(水) 設備設計無料相談
- 8日(土) 12年度第1回理事会

磐田市・磐田市役所
協会事務局

5月

- 10日(水) 設備設計無料相談
- 10日(水) 第2回理事会
- 16日(火) 設備設計無料相談
- 19日(金) 平成12年度通常総会
- 24日(水) (社)静岡県建築士事務所協会総会 (小林副会長出席)
- 25日(木) 県住宅振興協議会総会 (塩沢専務理事出席)
- 26日(金) (社)県設備協会総会 (志賀会長出席)

浜松市・浜松市役所
協会事務局
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・ホテルセンチュリー静岡
静岡市・ホテルアソシア
静岡市・クーポール会館
静岡市・ホテルセンチュリー静岡

6月

- 7日(水) 設備設計無料相談
- 14日(水) 設備設計無料相談
- 18日(日) 3役会
- 24日(土) 第3回理事会

磐田市・磐田市役所
浜松市・浜松市役所
協会事務局
協会事務局



平成13年1月 賀詞交歓会

2000

平成12年

8月~
12月

8月

- 4日(水) 設備設計無料相談
- 11日(水) 設備設計無料相談
- 12日(木) 建通新聞特集号掲載座談会 (志賀会長出席)
- 17日(火) 設備設計無料相談
- 21日(土) 第6回理事会
- 31日(火) 設備協会懇談会

磐田市・磐田市役所
浜松市・浜松市役所
静岡市・建通新聞社静岡支社
藤枝市・藤枝市役所
協会事務局
静岡市・ステーションホテル

9月

- 8日(木) 設備設計無料相談
- 11日(土) 第7回理事会
- 14日(火) 静岡エコロジー設計指針検討会 (志賀会長出席)
- 18日(土) 「風とあかり」第21号発行
- 21日(火) 設備設計無料相談
- 23日(木) 住宅展展示、相談コーナー開設
(会長、事業委員全員出向)
- 26日(日)

浜松市・浜松市役所
協会事務局
静岡市・県庁別館会議室

藤枝市・藤枝市役所
静岡市・ツインメッセ

10月

- 2日(土) 第8回理事会
- 5日(火) 中部地区設備協会意見交換会
- 6日(水) 設備設計無料相談
- 13日(木) 設備設計無料相談
- 15日(金) (社) J I A 東海支部大会 (志賀会長出席)
- 15日(金) 県住宅振協第2回住宅展運営事務局会議
- 19日(火) 設備設計無料相談

協会事務局
静岡市・ブケ東海静岡
磐田市・磐田市役所
浜松市・浜松市役所
静岡市・ホテルセンチュリー静岡
静岡市・もくせい会館
藤枝市・藤枝市役所

11月

- 6日(土) 第9回理事会
- 10日(水) 設備設計無料相談
- 11日(木) 静岡センチュリー21研究会 (志賀会長出席)
- 12日(金) 川勝平太氏講演会 (理事5名出席)
- 16日(火) 設備設計無料相談
- 24日(水) 松永晃氏講演会 (協会主催)

協会事務局
浜松市・浜松市役所
静岡市・グランシップ
静岡市・グランシップ
藤枝市・藤枝市役所
静岡市・グランシップ

12月

- 7日(火) 第10回理事会
- 7日(火) 協会忘年会

協会事務局
静岡市・クーボール会館



社団法人設立総会

2001

平成13年

1月～
6月

9.11同時多発テロ事件
池田小学校殺人事件
ノーベル化学賞を野依良治が受賞

1月

25日 社団法人設立総会

静岡県男女共同参画センター
“あざれあ”

4月

2日 三役会

6日 第1回役員会

10日 日設協全国代表者会議、衆議院議員連盟設立総会（志賀会長出席）

14日 広報委員会

19日 中部ブロック連絡会（志賀会長、伴理事出席）

岐阜高山

20日

21日 広報委員会、中部地区会

24日 （社）J I A 総会（志賀会長出席）

28日 広報委員会、運営委員会

5月

11日 運営委員会、13年度総会 （社）発足記念式典祝賀会

12日 広報発送 日設協常任理事会

ブケ東海

16日 電業協会総会（志賀会長出席）

25日 （社）岡山県協会30周年記念式典（志賀会長出席）

（社）静岡県建築士事務所協会総会（手塚副会長出席）

（社）設備協会総会（小林専務理事出席）

26日 日設協通常総会、全国代表者会議（志賀会長、伴理事出席）

28日 （社）建築設備技術者協会総会（志賀会長出席）

6月

2日 第2回運営委員会

三菱電機会議室

3日 三役会

9日 業務委員会

23日 中部地区会

29日 環境ホルモン講演会

ツインメッセ

30日 三役会



環境ホルモン講習会 6月



静岡国体夏期大会 会場 富士水泳場視察

2001

平成13年

8月~
12月

7月

- 7日 第3回運営委員会
- 10日 伴理事が国土交通大臣表彰受賞（日設協関係）
- 13日 住宅展出展者説明会
- 14日 業務委員会
- 18日 中部ブロック連絡会（志賀会長、伴理事出席）

8月

- 6日 インターシップ（就業体験）受け入れ会議（手塚副会長出席）
- 8日 住まいの文化賞実行委員会議（設楽理事出席）
- 13日 芝川町との契約（B & G 海洋センター非常用発電機設置工事に伴う設計業務委託）
- 18日 三役会
- 25日 第4回運営委員会

9月

- 1日 業務委員会
- 11日 掛川工業高校との対話（手塚副会長他出席）
- 21日
） 住宅展
- 24日
- 26日 日設協地区代表者会（志賀会長出席）

10月

- 12日 北陸甲信越中部ブロック会議（志賀会長出席）

三重県鳥羽グランドホテル

11月

- 14日 （社）静岡県建築士会50周年記念式典（志賀会長出席）



浜岡原発視察 11月



会員研修会（忘年会 富士ハイツ）

2002

平成14年

1月～
4月

日朝首脳会談
小柴昌俊、田中
耕一ノーベル賞
を受賞
サッカーワール
ドカップ日韓共
同開催

1月

- 11日 日設協代表者と新年名刺交換会（志賀会長出席）
- 25日 日設協福井県協会20周年記念祝賀会（志賀会長出席）

2月

- 2日(土) 運営委員会 協会事務局
- 6日(水) 中部ブロック連絡会（志賀会長、伴氏出席） 名古屋市
- 13日(水) 日設協臨時総会（志賀会長）
- 15日(金) 「折り紙建築と設備」講演会 グランシップ
- 23日(土) 設備設計無料相談 清水市役所

3月

- 2日(土) 三役会 運営委員会 協会事務局
- 13日(水) 日設協設備設計研修会 中部電力(株) 静岡営業所
- 22日(金) 理事会、通常総会 協会事務局

4月

- 3日(水) 日設協地区代表者会議（手塚会長出席）
- 5日(金) 日設協中部ブロック連絡会（志賀前会長出席） 名古屋市
- 7日(日) 沼津市松長海岸清掃奉仕作業（手塚会長他）
- 10日(水) 設備設計無料相談 浜松市役所
- 13日(土) 運営委員会 協会事務局
- 25日(木) （社）J I A 静岡通常総会（手塚会長出席） ブケ東海静岡
- 30日(火) 「レジオネラ菌の話」講師：賛助会会長 曾布川尚民 「十字の園」にて



折り紙建築造形講演会



建築五団体新年賀詞交歓会 ホテルアソシア静岡

2002

平成14年

5月~
8月

5月

8日(水)	設備設計無料相談	浜松市役所、磐田市役所
10日(金)	日設協中部ブロック連絡会（志賀前会長出席） （社）静岡県建築士会通常総会（手塚会長出席）	名古屋市 ブケ東海静岡
14日(火)	日設協地区代表者会議（手塚会長出席）	
17日(金)	理事会 通常総会	クーポール会館
24日(金)	（社）日設協長野県支部20周年記念式典 （志賀相談役出席）	長野市
27日(月)	静岡県住宅協議会通常総会（小林副会長出席）	ブケ東海静岡
28日(火)	（社）静岡県設備協会通常総会（手塚会長出席）	ホテルアソシア静岡ターミナル
31日(金)	（社）静岡県建築士事務所協会通常総会（手塚会長出席）	ホテルアソシア静岡ターミナル

6月

1日(土)	三菱電機「技術フォーラム」（手塚会長他出席）	
8日(土)	三役会 運営委員会	協会事務局

7月

4日(木)	設備協会との共同事業推進委員会	クーポール会館（静岡市）
5日(金)	14年度第3回中部ブロック連絡会 （手塚会長、伴相談役他出席）	
16日(火)	ホームページ研修会	清水テルサ（清水市）
26日(金)	コージェネーションシステム研修会（県各課合同）	県庁

8月

2日(金)	「風とあかり」第24号発行	
3日(土)	三役会 運営委員会	協会事務局
23日(金)	建築設備耐震診断技術講習会	静岡労政会館（静岡市）



5月通常総会 クーポール会館



6月 三菱電機技術フォーラム

2002

平成14年

9月~
12月

9月

1日(日)

()

東京電力（株）新潟県柏原刈羽原子力発電所見学

2日(月)

20日(金)

住宅展開会式（手塚会長出席）

10月

4日

日設協地区代表者会議（手塚会長出席）

5日

運営委員会

8日

志賀相談役国交省大臣表彰祝賀会

ホテルセンチュリー

18日

()

北陸甲信越中部ブロック会議（3役出席）

19日

11月

12日

設備設計三団体浜松市長と懇談会

23日

常任理事会

30日

理事会

興津健康ランド

会員研修会（忘年会）

興津健康ランド

12月

2日

日設協議員連盟総会（手塚会長出席）

7日

運営委員会

12日

地球温暖化講演会

中部電力（株）静岡営業所



中部ブロック会



東京電力柏崎刈羽原子力発電所



ホテルセンチュリー静岡



志賀前会長大臣表彰祝賀会

2003

平成15年

1月~
6月

自衛隊をイラク
へ派遣
東海道新幹線品
川駅開業
地上デジタル放
送開始
「千と千尋の神
隠し」がアカデ
ミー賞を獲得

1月

23日 建築五団体賀詞交歓会

ホテルアソシア

2月

1日 運営委員会

13日 水リサイクルシンポジウム 県水処協会後援

ブケ東海静岡

17日 県立掛川工業高校交流対談（会長他3役出席）

21日

設備協会共同研修会

松下電工 津工場

22日

3月

8日 通常総会

協会事務局

20日 通常総会

協会事務局

4月

9日 設備設計無料相談

浜松市役所

19日 第1回運営委員会

25日 (社) J I A 通常総会（上杉副会長出席）

ブケ東海静岡

5月

10日 第2回運営委員会

14日 設備設計無料相談

浜松市役所

16日 (社) 静岡電業協会通常総会（手塚会長出席）

クーポール会館

19日 静岡設監協通常総会（小林副会長出席）

静岡グランドホテル中島屋

21日 日設協地区代表者会議通常総会（上杉副会長出席）

23日 通常総会

クーポール会館

27日 住設協通常総会（新聞理事出席）

ブケ東海静岡

27日 中部地区会松下電工名古屋ショールーム見学会

28日 (社) 静岡県建築士事務所協会総会（手塚会長出席）

しまプラザホテル

29日 (社) 静岡県浄化槽協会30周年記念式典（手塚会長出席）

ホテルアソシア静岡ターミナル

31日 三菱電機（株）技術フォーラム協賛

6月

3日 静岡県住まいの文化賞実行委員会（中村副委員長出席）

4日 設備設計無料相談

磐田市役所

7日 第3回運営委員会

11日 設備設計無料相談

浜松市役所

13日 東部地区会 松下電工汐留ショールーム見学会

23日 日設協東海ブロック会議（手塚会長出席）



3月総会 協会事務局にて



掛川工業高校交流対談



5月通常総会 クーポール会館

2003
平成15年

7月～
12月

7月

- 9日 設備設計無料相談 浜松市役所
17日 蓄熱のつどい 赤坂プリンスホテル
(財)ヒートポンプ蓄熱センター(三ツ井専務理事出席)

8月

- 2日 運営委員会
18日 住宅展運営事務局会議(中村副委員長出席)
19日 住振協企画委員会(中村副委員長出席)
20日 運営委員会

9月

- 1日 北陸甲信越中部ブロック会議(手塚会長、小林副会長出席)
(
2日
5日 県立掛川工業高校交流対談(新聞理事出席)
12日 住宅展開会式(手塚会長出席)
27日 運営委員会

10月

- 8日 専攻建築士審査委員会(志賀相談役出席)
22日 国交省中部整備局東海4県協会と意見交流会
24日 (社)電業協会創立30周年記念式典(志賀相談役出席) ホテルセンチュリー

11月

- 4日 浜名湖花博現場見学会
22日 運営委員会
26日 KHP空調講習会 クーボール会館
28日 運営委員会
28日 会員研修会(忘年会) 伊豆長岡温泉井川館

12月

- 26日 設監協懇親会(手塚会長、小林副会長出席) ホテルアソシア



日設協通常総会



会員研修会(忘年会)



伊豆長岡温泉井川館

2004

平成16年

1月~
6月

新潟県中越地震
発生
アテネ五輪、メ
ダル37個獲得
スマトラ沖地震
で死者3万人

1月

- 16日 日設協地区代表者会議（手塚会長出席）
- 23日 建築五団体賀詞交歓会
- 27日 リサイクルプラント施設見学会
- 31日 運営委員会

ホテルアソシア
(株) 富士エコサイクル

2月

- 28日 運営委員会

3月

- 15日 県立掛川工業高校交流対談
- 19日 理事会 通常総会

4月

- 6日 建築設備無料相談 浜松市
- 7日 建築設備無料相談 磐田市
- 10日 第1回運営委員会
- 14日 建築設備無料相談 静岡市清水区
- 27日 共同事業推進委員会技術研修会、中部電力（株）会議室、120名参加
- 27日 (社) 静岡県設備協会東部支部総会
(植田専務理事出席) みしまプラザホテル
- 28日 (社) J I A静岡総会（手塚会長出席） ホテルアソシア静岡ターミナル
- 29日 沼津千本浜海岸清掃及び網引き、会員55名その他15名出席

5月

- 11日 建築設備無料相談 浜松市
- 12日 建築設備無料相談 静岡市清水区
- 19日 住振協総会（枝村委員長出席） ブケ東海静岡
- 20日 (社) 静岡電業協会会長（植田専務理事出席） クーポール会館
- 21日 (社) 静岡県建築士会総会（植田専務理事出席） ブケ東海静岡
- 26日 県電気工事業組合総会（松下事務長出席） クーポール会館
- 26日 (社) 日本設備設計事務所協会総会
(手塚会長出席) 如水会館
- 26日 静岡設計監理協同組合総会（小林副会長出席） ブケ東海静岡
- 27日 (社) 静岡県建築士事務所協会総会
(手塚会長出席) ホテルアソシア静岡ターミナル
- 28日 第1回理事会
- 28日 第7回通常総会 クーポール会館

6月

- 2日 建築設備無料相談 浜松市
- 3日 住振協企画委員会（中村副委員長出席）
- 9日 建築設備無料相談 磐田市
- 12日 第2回運営委員会
- 15日 静岡県設計監理協同組合連合協議会総会
(手塚会長出席) ブケ東海静岡

2004
平成16年

7月~
12月

7月

3日 第3回運営委員会

8月

3日 建築設備無料相談

浜松市

4日 建築設備無料相談

磐田市

11日 建築設備無料相談

静岡市清水区

9月

2日 (社)日本設備設計事務所協会地区代表者会(手塚会長出席)

7日 建築設備無料相談

静岡市清水区

17日 住振協視察研修(中村副委員長出席)

10月

6日 建築設備無料相談

磐田市

8日 住宅展開会式(手塚会長出席)

ツインメッセ

13日 静岡市中島浄化センター見学会

11月

10日 建築設備無料相談

浜松市

11日 地上デジタル放送受信システム規格改正壁雷針設備講習会



設備協会共同事業(工事管理マニュアル研修会)



5月通常総会 クーポール会館

2005

平成17年

1月~
3月

市町村大合併
愛知万博（愛・
地球博）開催

1月

12日 建築設備無料相談
19日 (社) 日本設備設計事務所協会地区代表者会議
27日 建築五団体賀詞交歓会

浜松市
明治記念館
ホテルアソシア

2月

5日 第9回運営委員会
9日 無料設備相談
18日 理事会、通常総会
21日 県立掛川工業高校交流対談

協会事務局
浜松市
クーポール会館
掛川工業高校

3月

5日 運営委員会
8日 (社) 設備協会共同事業技術研修会
(
9日
11日 中部ブロック会議
9日 無料設備相談
18日 予算総会、理事会
29日 県設備室公益法人監査

協会事務局
森松工業本社、
三菱電機中津川製作所

甲府富士屋ホテル
浜松市
クーポール会館



石川県知事 祝辞



建築五団体賀詞交歓会



ホテルアソシア静岡



5月通常総会



クーポール会館

2005

平成17年

4月~
5月

4月

9日(土)	運営委員会	
10日(日)	沼津市松長海岸清掃奉仕	
13日(水)	静岡市政令指定都市移行記念式典（松下事務長出席）	グランシップ
21日(木)	電子入札研修会	
27日(水)	静岡県建築物等定期報告調査者協会総会（手塚会長出席） 設備設計無料相談 （社）J I A静岡通常総会（手塚会長出席）	ホテルセンチュリー 浜松市 ベガサート交流センター

5月

12日(木)	（社）設備協会東部支部通常総会	三島プラザホテル
14日(土)	運営委員会	
19日(木)	理事会通常総会	クーポール会館
20日(金)	（社）静岡電業協会通常総会（小林副会長出席） （社）静岡県建築士会通常総会	ホテルアソシア
24日(火)	住振協総会出席（枝村委員長出席）	ブケ東海静岡
26日(木)	（社）建築士事務所協会通常総会（寺塚会長出席）	オークラクトホール
27日(金)	（社）静岡県設備協会通常総会（植田専務理事出席） （社）日本設備設計事務所協会通常総会（手塚会長出席）	ホテルアソシア 東京如水会館



17年度 通常総会



海岸清掃奉仕作業

2005
平成17年

6月～
11月

6月

4日(土) 運営委員会
三菱電機技術フォーラム

三菱電機テクノセンター
三菱電機テクノセンター

7月

2日(土) LonWorks技術セミナー
運営委員会

協会事務局

26日(火) 県企業局富士川浄水場見学会（地球環境委員会）

富士川企業局

8月

2日(火) 北陸甲信越中部ブロック会議
（手塚、小林、植田、三役出席）

アトリウム長岡

6日(土) 運営委員会

27日(土) （社）静岡県建築士事務所協会会長山崎善利氏叙勲受賞祝賀会

ホテルアソシア静岡ターミナル

10月

7日(金)
住宅展
10日(月)

11月

11日(金) 創立40周年記念式典

ホテルアソシア静岡ターミナル



Lon Worksセミナー



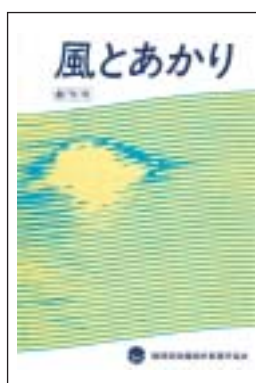
県企業局 富士川浄水場



中央監視システム

広 報 誌

「風とあかり」のあゆみ



VOL.1

1988年(昭和63年)7月



VOL.2

1988年(昭和63年)11月



VOL.3

1989年(平成元年)8月



VOL.4

1989年(平成元年)12月



VOL.5

1990年(平成2年)8月



VOL.6

1990年(平成2年)12月



VOL.7

1991年(平成3年)8月



VOL.8

1991年(平成3年)11月



VOL.9

1992年(平成4年)9月



VOL.10

1993年(平成5年)3月



VOL.11

1993年(平成5年)11月



VOL.12

1994年(平成6年)8月



VOL.13

1995年(平成7年)7月



VOL.14

1996年(平成8年)8月



VOL.15

1997年(平成8年)8月



VOL.16
1998年(平成10年)2月

VOL.17
1998年(平成10年)9月

VOL.18
1999年(平成11年)2月

VOL.19
1999年(平成11年)9月

VOL.20
2000年(平成12年)2月



VOL.21
2000年(平成12年)8月

VOL.22
2001年(平成13年)5月

VOL.23
2002年(平成14年)2月

VOL.24
2002年(平成14年)8月

VOL.25
2003年(平成15年)3月



VOL.26
2004年(平成16年)8月

40周年記念誌(VOL.27)
2005年(平成17年)11月

VOL.27 別冊
2005年(平成17年)11月

協会広報誌
「風とあかり」

VOL.1
1988年(昭和63年)7月

40周年記念誌
2005年(平成17年)11月

広報委員会

歴代役員

顧問	杉山憲夫 様 1975～1998	堀江静男 様 1987～1996
----	------------------	------------------

昭和49年までの「理事」欄は、正会員名とする。

年 度 4月～翌年3月		4月 総会 正会員	会 長	副 会 長		専 務 理 事	理 事					
『静岡県設備設計事務所協会』 昭和40年4月17日 設立												
1965年	昭和40年	9	初代		塩沢千尋		小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1966年	昭和41年	9	森坂利昌				小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1967年	昭和42年	9					小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1968年	昭和43年	10					小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1969年	昭和44年	14					小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1970年	昭和45年	14					小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1971年	昭和46年	14	2 代		山下高明		小池敏和	小長谷直弘	森坂利昌	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1972年	昭和47年	17	坂田英夫				小池敏和	小長谷直弘	森坂利昌	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
							小野 小林 順	鈴木禮正				
1973年	昭和48年	24	3 代		小池敏和		坂田英夫	小長谷直弘	森坂利昌	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
			山下高明				小野 小林 順	鈴木禮正	志賀正紀	小柳克彦 三晃	杉山芳教	
1974年	昭和49年	24					坂田英夫	小長谷直弘	森坂利昌	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
							小野 小林 順	鈴木禮正	志賀正紀	小柳克彦 三晃	杉山芳教	
1975年	昭和50年	23	4 代		伴 賢二		大竹和雄	杉山芳教	白鳥茂雄	塩沢千尋	山下高明	志賀正紀
1976年	昭和51年	21	小池敏和									
1977年	昭和52年	21					大竹和雄	杉山芳教	白鳥茂雄	塩沢千尋	山下高明	志賀正紀
1978年	昭和53年	21										
1979年	昭和54年	21	5 代	大竹和雄	伴 賢二		小池敏和	杉山芳教	白鳥茂雄	小林 順	山下高明	志賀正紀
1980年	昭和55年	37	塩沢千尋									
1981年	昭和56年	40					小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	小林 順	白鳥茂雄	志賀正紀
1982年	昭和57年	40										
1983年	昭和58年	40	6 代	白鳥茂雄	伴 賢二		小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋
1984年	昭和59年	41	大竹和雄									
1984年	昭和59年	41	7 代	白鳥茂雄	志賀正紀		小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋
1985年	昭和60年	41	伴 賢二									
1986年	昭和61年	42					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋
1987年	昭和62年	42										
1988年	昭和63年	42					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋
1989年	平成元年	44										
1990年	平成 2 年	47					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋
1991年	平成 3 年	46	8 代	寺田尚弘	荒牧弘芳		伴 賢二	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	白鳥茂雄	花村吉晃
1992年	平成 4 年	46	志賀正紀						寺尾 崇			
1993年	平成 5 年	50				酒井 丹	伴 賢二	手塚正一	鍵和田広志	伏見祥二	白鳥茂雄	花村吉晃
1994年	平成 6 年	60										
1995年	平成 7 年	59					伴 賢二	手塚正一	小柳克彦	田中 良	白鳥茂雄	花村吉晃
1996年	平成 8 年	52		寺田直弘							設楽茂雄	
1997年	平成 9 年	52		手塚正一	多々良公夫		伴 賢二	上杉 勇	小林康秀	田中 良	設楽茂雄	川連新三郎
1998年	平成10年	53										
1999年	平成11年	51		小林康秀	手塚正一	塩沢千尋	伴 賢二	上杉 勇	佐々木哲男	三ツ井幹雄	設楽茂雄	川連新三郎
2000年	平成12年	48				H13.3まで						

堀江龍一 様 1991～	西原茂樹 様 1999～
--------------	--------------

理		事			監 事	委 員 長						備 考	
						総務	業務	技術	事業	法人化	広報		
中田樹臣													
中田樹臣	山下高明	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治									
中田樹臣	山下高明	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治									
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治									
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治									
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治			塩沢千尋	志賀正紀	山下高明				事業・技術・業務の3委員会発足
吉岡弘一	飯田	永福											
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治			塩沢千尋	志賀正紀	山下高明				
吉岡弘一	飯田	永福											
							志賀正紀	大竹和雄	山下高明				
							塩沢千尋	白鳥茂雄	志賀正紀	杉山芳教			総務委員会発足
							塩沢千尋	白鳥茂雄	志賀正紀	杉山芳教			
							山下高明	志賀正紀	伴 賢二	小林 順			日本設備設計事務所協会連絡会発足(9県) 「協会便り」発行(10月)
夏目素男	寺田尚弘						白鳥茂雄	志賀正紀	伴 賢二	小林 順			
山下高明	手塚正一	寺田尚弘	志賀正紀				塩沢千尋	小林 順	志賀正紀	手塚正一			
													8月まで。9月に役員改選
山下高明	手塚正一	寺田尚弘					塩沢千尋	手塚正一	中田樹臣	小柳克彦			日本設備設計事務所協会連合会発足
													創立20周年、協会マーク制定 賛助会員導入、9JV発足
村松章司	手塚正一	寺田尚弘	堀野勝己		小林 順	塩沢千尋	手塚正一	中田樹臣	小柳克彦				
													セツビクラブ発足
村松章司	手塚正一	寺田尚弘	堀野勝己			小柳克彦	田中 良	寺田尚弘	中田樹臣		村松章司		広報委員会発足、「風とあかり」創刊 EPC発足、細則を制定、賛助会員親睦会発足
						小柳克彦	中田樹臣	田中 良	手塚正一		堀野勝己		
村松章司	手塚正一	山本孝行	堀野勝己			小柳克彦	中田樹臣	田中 良	手塚正一	小林康秀	堀野勝己		12月に伴会長日設協理事に専任、県設備室設置 法人化準備委員会発足
村松章司	岡田慎一郎	山本孝行	堀野勝己			小柳克彦	堀野勝己	中田樹臣	田中 良	小林康秀	上杉 勇		創立25年 1月に役員改選
						手塚正一							
岡田慎一郎					田中 良	手塚正一	鍵和田広志	岡田慎一郎	花村吉晃	荒牧弘芳	三ツ井幹雄		事務局開設(静岡市大和2丁目・東京堂ビル)
村松章司					鍵和田広志	手塚正一	村松章司	田中 良	神谷保孝	荒牧弘芳	小林康秀		創立30周年
小林康秀							花村吉晃			志賀正紀			
					小柳克彦	上杉 勇	川連新三郎	設楽茂雄	田中 良	多々良公夫	小林康秀		
						上杉 勇	新間正博	三ツ井幹雄	設楽茂雄	手塚正一	山梨敏男		法人化準備委員会は 公益事業委員会に名称変更
													平成13年2月社団法人設立まで

歴代役員

顧問	堀江龍一様 1991～	西原茂樹様 1999～2005
----	-------------	-----------------

年 度		3月 総会		5月 総会		会 長	副 会 長	専 務 理 事	理 事									
4月～翌年3月		正会員																
『社団法人 静岡県設備設計協会』 平成13年2月23日 登記																		
2001年	平成13年	48	52	8代 志賀正紀 9代 手塚正一	手塚正一		小林康秀	伴 賢二	上杉 勇	設楽茂雄	曾布川尚民	松浦 浩	岡本吉弘	西川和宏	萩原 孝	山田順策	後藤伸彰	若月 允
2002年	平成14年	50	48		小林康秀	上杉 勇	三ツ井幹雄	新聞正博	植田賢司	曾布川尚民	萩原 孝	山田順策	西川和宏	後藤伸彰	若月 允			
2003年	平成15年	48	48															
2004年	平成16年	48	47				植田賢司	佐々木哲男	山本孝行	名波睦夫	曾布川尚民	萩原 孝	山田順策	西川和宏	吉永 忍	長谷川紀夫		
2005年	平成17年	45	44															

(社)日本設備設計事務所協会正会員数

2005年8月現在

		ブロック	地区協会名	都道府県別会員数		備 考 (地区協会設立年等)
				地区協会所属	直 轄	
1	1	北 海 道	北海道設備設計事務所協会	38		昭和58年12月
2	2	東 北	青森県設備設計事務所協会	26		昭和53年10月
3			岩手県設備設計事務所協会	9		
4			宮城県設備設計事務所協会	45		平成7年 4 月
5			秋田県設備設計事務所協会	16		平成4年11月
6			山形県設備設計事務所協会	16		
7			福島県設備設計事務所協会	26		
8	3	関 東	茨城県設備設計協会	28		昭和56年10月
9			栃木県設備設計事務所協会	17		昭和58年 8 月
10			群馬県		4	
11			埼玉県設備設計事務所協会	24	1	昭和54年 3 月
12			千葉県		12	
13			神奈川県		8	
14	4	東 京	(社)東京都設備設計事務所協会	95	19	平成10年12月
15	5	北陸甲信越	山梨県設備設計協会	17	1	昭和51年11月
16			長野県		4	
17			(社)新潟県設備設計事務所協会	6		
18			富山県設備設計事務所協会	15		
19			(社)石川県設備設計監理協会	22		昭和49年 4 月
20			福井県設備設計事務所協会	15		
			小 計	415	49	

注1…県名のみ記載の地区は会費の仲介業務等、事務委託を行っていないため協会名は未記載

注2…直轄は日設協に直接入会している会員

相談役 2002年から		監 事		事務長	委 員 長					地 区 監 事			備 考
					総務	業務	技術	地球環境	広報	東部	中部	西部	
		中田樹臣	鈴木京作	H13.4から	上杉 勇	新聞正博	三ツ井幹雄	設楽茂雄	山梨敏男	佐々木哲男	三ツ井幹雄	川連新三郎	社団法人設立総会1月25日 ホームページ開設
伴 賢二	志賀正紀	中田樹臣	鈴木京作	松下秀典	山森 繁	新聞正博	清水三敏	植田賢司	山梨敏男	佐々木哲男	設楽茂雄	美和静男	
		中田樹臣	森 四郎		山本孝行	枝村 彰	名波睦夫	中山 巧	枝村章司	佐々木哲男	山森 繁	枝村 彰	11月HPに「eー風とあかり」開設
			藤沢謙司										11月11日「40周年記念式典」

		ブロック	地区協会名	都道府県別会員数		備 考 (地区協会設立年等)
				地区協会所属	直 轄	
21	6	中 部	岐阜県設備設計事務所協会	10		
22			(社)静岡県設備設計協会	41	1	昭和40年 4 月
23			愛知県		20	
24			三重県設備設計事務所協会	15		
25	7	近 畿	滋賀県		1	
26			京都府		8	
27			(社)大阪建築設備設計事務所協会	56		昭和57年 4 月
28			兵庫県設備設計事務所協会	12		
29			奈良県設備設計事務所協会	4		昭和63年 9 月
30			和歌山設備設計事務所協会	15		昭和61年12月
31	8	中 国	(社)鳥取県設備設計事務所協会	12		昭和57年 4 月
32			島根県支部		10	平成 9 年 7 月
33			(社)岡山県設備設計事務所協会	22		
34			(社)広島県設備設計事務所協会	56		昭和44年 4 月
35			山口県設備設計協会	13		
36	9	四 国	徳島県設備設計事務所協会	16		
37			香川県設備設計事務所協会	21		昭和55年 8 月
38			愛媛県設備設計事務所協会	12		
39			(社)高知県設備設計事務所協会	14		
40	10	九 州	福岡県設備設計事務所協会	37		昭和55年 4 月
41			佐賀県設備設計事務所協会	12		
42			長崎県設備設計事務所協会	18		
43			熊本県設備設計事務所協会	27		昭和53年
44			大分県設備設計事務所協会	7		
45			宮崎県設備設計事務所協会	8		
46			鹿児島県設備設計事務所協会	15		昭和60年 4 月
47	11	沖 縄	(社)沖縄県設備設計事務所協会	31		昭和46年10月
			小 計	474	40	
			合 計	978		

設備の あゆみ

あかりの部

Part.1 波瀾万丈ランプ変遷記

人間の手によって生まれた光源は、今から約2,000年前の縄文時代に、木の枝や枯れ草などを燃やし、闇夜を照らすあかりとして誕生し、燃焼光源時代を築きました。やがて動物油・植物油を石器や土器・貝殻などに入れ、その油を灯芯に浸して点火するオイルランプへと様相が変化します。ともし火からオイルランプへ、いつ、どこで変貌を遂げたのかは定かではありませんが、最古のランプとして現存しているのは、フランスのラ・ムート洞窟から出土した砂岩製のランプではないかと言われています。

オイルランプは、急須型、土製、陶製、金属製へと姿形を変化させ、長年にわたってさまざまな家屋に普及しました。しかし、アメリカのB. シリアンの石油ランプの登場により、オイルランプの姿は次第に消え去り、その後電気エネルギーの発見により、燃焼光源時代にかわる電灯・電球時代が到来します。

Part.2

1808年、イギリスのH. デービーが発明した最初の電灯、アーク灯により、電灯・電球時代の幕が開かれました。しかし、デービーが発明したアーク灯は光度が高いためまぶしく、炭素蒸気を出して空気を汚してしまうので、街路灯に使用できる程度のものでした。また、同じ時期にイギリスのド・ラ・リュがプラチナのフィラメントを使った白熱電球を作りましたが、寿命が短いわりに高価で、実用には至りませんでした。

波瀾の幕開けをした電灯・電球時代に希望の光を灯したのは、イギリスの科学者W. R. グローブです。彼は1840年、プラチナフィラメントの白熱電球を発明し、実用化へとこぎつけました。

1860年にはイギリスのスワンが、紙を炭化したり、錦糸を硫酸で処理した炭素電球の製作に成功するなど、グローブの白熱電球実用化を機に次々と明るい話題がこの時代を華やかにします。そして1879年、ついに現代の白熱電球の基盤ともいえる、T. A. エジソンの炭素電球が発明されるのです。

Part.3

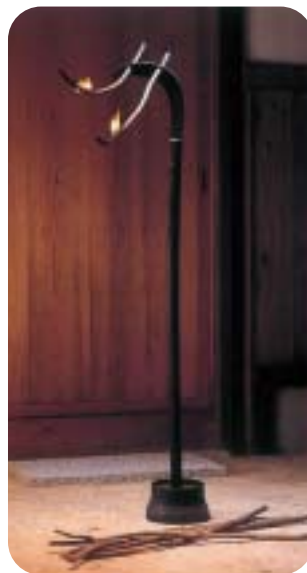
「天才とは99%の努力と1%のインスピレーションからなる」をモットーにし、「わたしは発明を続ける金を手に入れるために、いつも発明する」と述べた、工夫と創造の発明家エジソンが、終生のうち最も想像力盛んな1876～1881年に、白熱電球は発明されました。

1878年から白熱電球の研究に没頭したエジソンは、水銀排気ポンプの改良と、炭素フィラメントの採用により、翌1879年10月21日、40時間以上も発光し続ける電球を創ることに成功します。そして、フィラメントの材料に竹が適していることを知り、世界中の竹を取り寄せて調べました。その結果、日本の京都付近の八幡の竹が最適であることがわかり、その後約10年間もこの八幡竹を使用し続けたそうです。



▲ひでばち（江戸～明治時代）
非常に原始的な灯火器で、中に松の油の多い根などを入れ燃やした。

電気とあかり



◀たけあかり（明治時代）
長野県や秋田県にある根曲がり竹を燃やして“あかり”をとった原始的なもの。



▲両開き行灯（江戸～明治時代）

さらにエジソンは、電球を普及させるために、ソケット、スイッチ、安全ヒューズ、積算電力計、配電盤の設計など、電灯の付帯設備から配電、送電、発電にいたる全ての体系を創出しました。

一方、放電灯はアーク灯に始まり、1859年にドイツのガイスラーがガイスラー管を発明したのですが、白熱電球の目覚ましい発達の陰に隠れてしまい、あまり注目を集めることができなかったようです。しかし、1893年にムーアのムーア灯によって体裁が整い、その後1914年にネオン管、1938年にはアメリカのインマンが蛍光灯を発明します。

さまざまな失敗や成功により改良された電灯・電球は、時代とともに、また、人々の生活とともにさらに進化してゆきます。そして、今日では人々の暮らしを彩るかがやきとして、白熱電球、蛍光灯、ハロゲンランプ、H I Dランプなど、いろいろな光源へと成長し、誰もが手軽に『あかり』を手に入れられる時代となったのです。

近年では省エネルギーなインバータ蛍光灯が主流となり、電球色蛍光灯や寿命まで明るさが減少しない蛍光灯も発売されている。

便利灯▶
(大正～昭和初期)
パラフィンロウを
ニクロム線の芯に
おとしてあかりに
使用した物。



◀カーボン電球
(明治23～大正時代)
最初の電球で、フィラ
メントは炭素(木綿)
を用いた。笠はP-1セ
ード。
※P-1セードの名前
はメーカーのカタログ
の項目に載っていたの
で通称P-セードと呼
ばれたとか……

電 気 の 部

明治20年11月18日、東京日本橋南茅場町に、東京電灯株式会社の火力発電所が完成した。本格的な電灯の供給が、始まったのだ。

ただし、料金もまだ高く、電灯を使用するところはごく一部だった。東京郵便局などでは、138個の点灯がやっと。当時の寄席などにもまだまだ電灯は見られず、たいていは大ランプを吊り、高座に2本の燭台を置いていた。電灯が一般に普及するのは、この数10年ほど後になる。

それまで使われていたランプは、幕末に欧米から日本にもたらされた。そして、明治5年頃から国産品が出回り、ようやく一般に普及したのが、東京に火力発電所ができた明治20年代。全盛期は、明治30年代だ。

ただし、ランプには大きなマイナス面があった。それは、火災を起こしやすいことである。ランプが使われ始めた頃(明治5年)に出された、東京府の取扱布令には「ランプを掃除し油をつぐは、屹度昼間に致しおくべし、夜火の近処に取扱まじきこと」、「万一燃え上がる節は、風呂敷またはケットの類を以て押消すべし、水を注ぐべからざる事」とあった。

電灯の登場は、1879年(明治12年)、エジソンが発明した白熱電灯による。しかし、日本に入ってきてからの普及が、いやに遅いようだ。

それもそのはず、火力発電所ができる2～3年前までは、電灯といっても、その求めに応じて、電灯会社の人が発電機を、加入者のところまで持ち歩く始末。しかも、料金はもちろん、明るさもランプに負けていたという。

ちなみに、その時のキャッチフレーズは、「電灯三個点ずれば東京の夜は昼間の如し」とか。

▼2灯用クラスタ (大正9年)

このころからさまざま
な形のものが
出はじめた。



▲キーソケット(昭和4年)

フェノール樹脂を使
って商品化され、
市場で一流品とし
て取り引きされた。

アタッチメントプラグ▲ (大正7年)

練りもの配線器具が
出はじめ価格が安
価となり大量に販
売されはじめた。



▲昭和初期の菊型ローゼット

設備の あゆみ

上水道

水路橋 (日本最古の水路橋)

水を必要なところに供給する、
上水道の原点となるのは水路橋です。

早鐘眼鏡橋は、三池藩が延宝2年(1674)に早鐘池の用水を通すために大牟田川に架けた石造アーチ型水路橋で、この様式では日本で一番古いものと言われている。橋長：11.2 m、橋幅：3.15 mで、凝灰岩を使用。橋の上には三方が板石で作られた深さ33cm、幅45cmの用水路が設けられている。早鐘池のある東の方から村々のある西の田へ。農業生産向上のため中国伝来の技術を使用。国指定重要文化財(昭和45年6月17日指定)。現在は使用されていない。

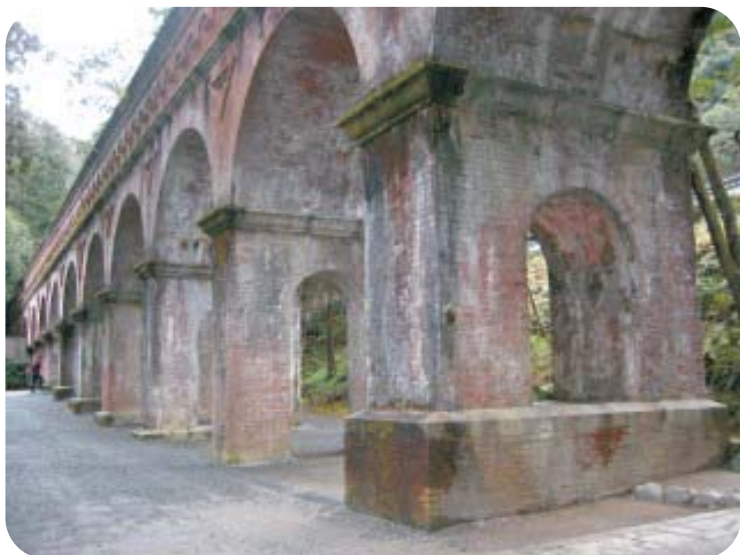
京都南禅寺水道橋(水路橋)「水路閣」▶
(TVドラマによくです。)
赤レンガのアーチ式(琵琶湖から京都市内に
引かれている。)(1890年架橋)



▲早鐘眼鏡橋(水路橋)(1674年架橋) 日本最古の水路橋です。



ローマ水道橋▲



設備の あゆみ

トイレ

厠 神



厠神の信仰は、今もなお無意識の形で現代人に受けつがれている。その最たる例が、便所の前で咳払いをすることである。咳払いして、用足しに来た者がいることを厠神に報せる。壱岐地方では、もしも咳払いせずに便所へはいれば、厠神と鉢合わせして神罰を受け、病気にかかると思われている。

この咳が、実は境界を意味する「関^{せき}」に通じた呪術的な行為であると指摘する向きもあるが、咳は文字どおり境界を越えて行うコミュニケーションにあって唯一の言語だったのではなかろうか。

現代の和式便所の原形▶
(木製で金かくしがつく)



◀床をくりぬき外のこえだめにおとす便所
(かなりコントロールが必要では？冬はとっても寒そう！)

▼陶器製の便所の誕生
(むかし私の家には木の蓋がしてありました)





▲木製の小便器

(足の短い人・○○の短い人は、とどいたのだろうか?)

▶コンクリート製の小便器

(独特のにおいを思い出しませんか?)



修行僧の便所

使う前と使ったあとにきれいに手をつかって掃除をしたそうです。(自分でできる人は?) ▼

この写真は京都五山の中に臨濟宗東福寺に室町時代の東司（とうず）又は西浄（せいじょう）の遺構がある。これは現存する日本最古の便所建築で禅宗建築様式である。

建物の中は全面土間で左右に便壺が26個埋められて、仕切りはない。手前右側9個が大使用、左側9個が小使用で奥は手洗い用だったらしい。



◀木製の洋風腰掛便器

(おしりはどうしてふいたのでしょうか?)

現存する日本最古の腰掛け便器。木製の箱に丸い穴を開けた簡単なものです。

▶陶器製洋風便器の原形



日本のトイレは肥料貯蓄所だった！

日本のトイレの歴史はけっこう古く、鎌倉時代には庶民も個室のトイレで用を足していたとか。「閑所」と呼ばれるこのトイレはいわゆる「汲み取り式便所」。これは日本人が古来から清潔好きだったからではなく、排泄物がいい肥料になることが分かったから生まれたもの。農耕民族ならではの生活の知恵だったのですね。他にも「厠」と呼ばれるトイレもできましたが、これはもともと「川屋」と書き、その名の通り川の流れを利用した水洗便所。流した汚物は川の浄化作用で処理される仕組みになっていました。



ちかごろの便器

カバーの自動開閉から自動洗浄までする器具まで出てきました。自動洗浄に慣れてしまうと流す事をわすれてしまうそうです。くれぐれもお気をつけ下さい！



▲ヨーロッパのデザイン便器
(ピンクのおしり形がとってもみりよく的)



▲ヨーロッパのデザイン便器
(きれいですね！)



▲ちかごろの便器(一般形)



▲ちかごろの便器(ローシルエット)
サイフォン技術の最先端

設備の あゆみ

エアコン

エアコンのない時代、暑い夏でも人はうちわであおいで、涼(すず)んでいた。やがて明治時代になって、電気の力で風を起こす扇風機が発明された。エアコンが生まれたのは、それから約60年後の昭和30年代になってからである。(一般家庭に普及したのは昭和40年代になってから)

扇風機の歴史は以外と古く、扇風機にモーターを取り付けたのはエジソンで、アメリカでは1882年(明治15年)に電動扇風機が商品化され、明治26年には日本に紹介されました。日本でも1894年(明治27年)には国産の扇風機が開発されました。しかし一般家庭への普及は遅く多くの家電製品が普及しはじめる明治30年代になってからです。

扇風機は、日本でも350年ほど前に、8枚のうちわをつけた手回しの「うちわ車」を後水尾天皇(徳川二代将軍秀忠の時代1610年代)が用いたという記録があります。

エアコンが最初にできたのは、1958年(昭和33年)ころで、涼しい風だけをつくるのでクーラーという名前でした。(英語のクール:冷たいからそう呼ばれていました)

冷暖房のエアコンができたのは、1972年(昭和47年)ごろで、1984年(昭和59年)ごろにはインバーター形の省電力・大パワーのエアコンが登場しました。

最近は、いろいろな付加価値のついたエアコンが発売されています。例えば

- ・より省エネルギーなもの
- ・高濃度酸素をだすもの
- ・フィルターの掃除を自動でしてくれるもの
- ・除菌や空気清浄機能のついたもの
- ・換気扇と一体になったもの

■ うちわの時代



手であおいで風をおこす道具
今でもりっぱに使われている

■ 扇 風 機



自動で風がくる機械
文明開花である

■ ウインド型ルームエアコン

1958年ころ



なんと冷たい風が出てくる機械
とってお金持ちの世界

■ ウインド型ルームエアコン進化(温度調節)

1967年ころ



一般家庭で一家に一台の時代へ
クーラーのある室は、天国と感
じた人も多いのでは？

■ セパレート型ルームエアコン登場

1972年ころ



価格も手ごろになり一家に一台
から複数台の時代へ

■ 近年のルームエアコン(多機能付き)

2005年



エアコンはある事があたり前の
時代へ
今では、健康により機能がキーワ
ードとなりさまざまな機能が追
加される。

設備の あゆみ

ガス

明治5年9月29日(太陽暦で10月31日)この日、日本最初のガス灯が横浜で点灯した。場所は、神奈川県庁付近、大江橋、馬車道、本町通り。ここに10数基のガス灯が立ち並んだ。提灯や行灯が普通であった時代に、ガス灯の明るさはまさに驚異であった。みな口々に、「切支丹の魔法だ」とつぶやいたという。

銀座通りにガス灯ができたのは、それから2年後の明治7年。京橋から金杉橋にかけて、85基のガス灯が設置された。

それから100年以上たった現在、ガスは完全に一般家庭に普及し、生活とは切り離せなくなった。最初のガス灯設置から100年目にあたる、昭和47年に日本瓦斯協会では10月31日を「ガス記念日」とした。



▲明治初期のガス灯(横浜仕様)

点灯夫と呼ばれる人が、夕方になると長いさおを片手にガス灯へ火をともし歩いた。文明開花!

▼ガス洗面用湯沸かし器
(大正期)



▼卵ゆで器(昭和初期)



▲ガスエンジン
(明治中期～後期)

今日のコージェネレーションシステムや天然ガス自動車などのルーツであり、【日本の産業遺産300選】の一つに選定されています。



▲ガス蟹型ストーブ
(昭和初期)

火をつけるとスケルトン(真中の四角の部分)が赤く変化することから『カニ』を発想したユーモアあふれるストーブです。



◀ガス食パン焼き器(昭和初期)
普通のガスコンロにのせて使い、一度に4枚のパンを焼くことができます。

資料提供(出展)・参考文献

- ・日本トイレ博物誌 (株)INAX
- ・日本のあかり 由比宿東海道あかりの博物館
- ・創業75周年記念誌 松下電工(株)
- ・ミスタースリム25年の歩み 三菱電機(株)
- ・イラスト 小栗綺乃

その他資料提供をありがとうございました。

平成17年度 (社)静岡県設備設計協会役員委員会構成

◆顧問 堀江龍一 静岡県議会議員
西原茂樹 静岡県議会議員
天野一 静岡県議会議員

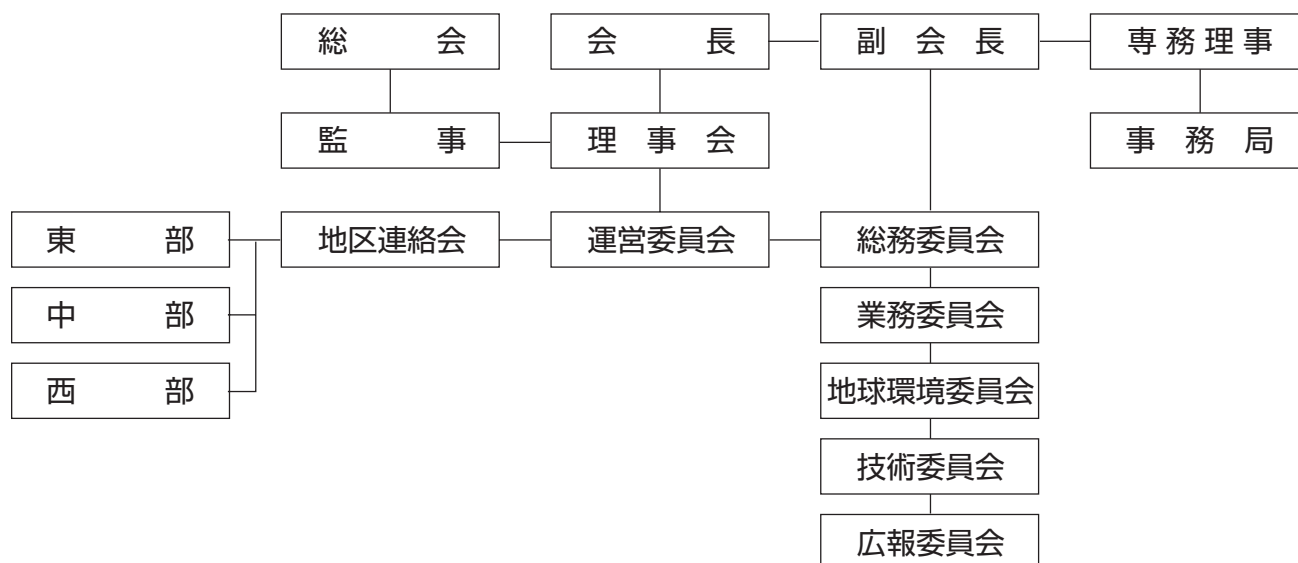
◆相談役 志賀正紀 前会長
伴賢二 元会長

◆役員
会長 手塚正一 (株)セイワ設計
副会長 小林康秀 (有)コバヤシ設備設計事務所
専務理事 植田賢司 ウエダ建築設備事務所
理事 佐々木哲男 佐々木設備設計事務所
// 山本孝行 (有)環境設備計画
// 名波睦生 ナナミ電気設計
// 曾布川尚民 大学産業代表取締役社長
// 萩原孝 松下電工(株)静岡営業開発部次長
// 山田順策 (社)建築設備技術者協会中部
支部静岡支店長
// 西川和宏 セルコ(株)代表取締役社長
// 吉永忍 中部電力(株)静岡支店営業部
大口営業グループ課長
// 長谷川紀夫 静岡ガス(株)本社都市エネ
ギーグループリーダー
監事 中田樹臣 中田設備設計事務所
// 藤沢謙司 東芝電機マーケティング(株)
静岡電材社社長

◆運営委員会 手塚正一 正会員理事(会長)
小林康秀 (副会長)
植田賢司 (専務理事)
佐々木哲男 (東部地区幹事)
山本孝行 (総務委員長)
名波睦生 (技術委員長)
中田樹臣 正会員監事
枝村彰 正会員
(業務委員長・西部地区幹事)
中山巧 正会員(地球環境委員長)
村松章司 正会員(広報委員長)
山森繁 正会員(中部地区幹事)

◆各委員会
総務委員長 山本孝行 正会員理事
技術委員長 名波睦生 (株)
業務委員長 枝村彰 正会員
地球環境委員長 中山巧 (株)
広報委員長 村松章司 (株)

平成17年度 (社)静岡県設備設計協会組織表



志 賀 磐 峰 (志賀正紀相談役)

書道研究 『書聖会』教範

書道研究 『臨池会』師範

村 上 恭 子 (ペンネーム:COM)

静岡県藤枝市出身。女子美術大学を卒業後、就職。そして独立しプロイラストレーターとして活躍中。

主な作品例

挿 絵:SD文庫 はっぴいセブンシリーズ

挿 絵:コバルト文庫 青山電脳倶楽部シリーズ

カット:アクリリアンエイジカードシリーズ 等

委 員 長 村松 章司

副委員長 杉山 芳教

〃 上杉 勇

委 員 村松 宏

〃 村上 善洋

〃 小林 順

〃 鈴掛 誠

〃 佐藤 友康

〃 井上 俊雄

編集後記

40周年記念誌の発行にあたって

平成17年は、昭和で数えると80年であり、また戦後60年という節目の年です。

協会は昭和40年に9社で設立以来多くの変遷を経て40周年を迎えました。

皆さまのもとに「40周年記念誌」を届けることが出来ることは協会の喜びであります。発行にあたりご協力いただいた正会員および賛助会員そして原稿をお寄せ下さった皆さまありがとうございました。

今年はオリンピック開催の次の年で、世界水泳、陸上選手権が開催され、深夜までテレビに釘付けになりました。野球では大リーグのニュースが毎日流れてきます。スペースシャトルでの野口さんの活躍もありました。その反面では、イラクに平和が訪れず飛行機事故などの暗いニュースの多い年でもありましたが、「愛・地球博」には2200万人を超える人が訪れ大勢のエコな人が誕生しました。

誌面にも掲載しましたが、当協会は全国からみても歴史の長い協会です。

協会歴代役員の名簿の資料を集めてまとめをしてみますと、多くの先輩の努力と活躍のうえに今日があることをあらためて実感しました。いま(設備)設計業界は岐路に立っていると思います。先輩の築いた土俵でただ夢中で相撲をとってはいませんか? 次の世代の会員に何を伝えるかその努力をしていますか? 41年目を迎えるに当たり協会全員で考えていきます。

記念誌の作成は広報委員会が担当に決まり、3月に全体の構成を検討して5月から具体的な作業に入りました。30周年以降に事務局が今のところに移ったこともあり、見つからない資料もあり諸先輩方に協力をいただきまとめることが出来ました。

広報誌「風とあかり」は創刊が昭和63年で平成の時代とともに育ってきたことになります。その時も今回も一緒に携わった委員もいて当時の苦労話をしたり、巡り合わせの縁を感じそして記念誌を担当できたことを嬉しく思いながら作業を進めました。

誌面から40年の歴史に思いを馳せていただき、そして次のステップへのスタートになることを願います。

最後に、この厳しいなかで記念誌を発行できたことは皆さまの協力のおかげであり、厚くお礼申し上げますと同時に、協会へのますますのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

広報委員長 村松 章司

記念誌編集委員会



佐藤、小林、村松、井上、村松委員長、鈴掛、村上、杉山、上杉

平成17年11月

記念誌「40年のあゆみ」

風とあかり (VOL.27)

発行・編集 社団法人静岡県設備設計協会

事務局 〒422-8077 静岡市駿河区大和2丁目6番5号
(東京堂ビル208)

電話 054(284)3088

FAX 054(284)3095

E-mail sepa@po4.across.or.jp

ホームページ http://sepa-jp.com/

印刷 黒船印刷株式会社